

JAPAN ADVANCED INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

Financial Report 2022

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学  
財務レポート2022

令和3事業年度（2021年4月1日～2022年3月31日）

# Contents

- ▶ JAIST未来ビジョン  
JAIST未来ビジョン  
基本戦略 1～4
- ▶ 経営体制
- ▶ 教育システムの特徴
- ▶ 学生の状況
- ▶ 研究の特徴
- ▶ 財務諸表等の概要
  - 貸借対照表
  - 損益計算書
  - キャッシュフロー計算書
  - 利益処分に関する書類
  - 国立大学法人等業務実施コスト計算書
  - 附属明細書
  - 決算報告書

# JAIST未来ビジョン

～世界トップの研究大学を目指して～

# JAIST未来ビジョン

北陸先端科学技術大学院大学は、独自の研究の高度化と先鋭化を進めつつ、国内外の大学や研究機関、産業界とのグローバルな連携に基づく新たな共創により、科学技術の未来を拓き世界の持続的発展に貢献するイノベーション創出拠点として、世界トップの研究大学を目指す。

全学一研究科体制の下、意欲に溢れた学生を国内外から広く受け入れ、先端科学技術の確かな専門性を持ち、新たな時代を先導する『しなやかな強さと共創力』を備えたグローバルリーダーとして育成する。

# 基本戦略

## ▶ 1 本学独自の研究の高度化・先鋭化とグローバルな共創的イノベーション創出研究の推進【研究】

本学独自の研究の高度化・先鋭化を進めつつ、国内外の大学や研究機関とのグローバルな学術的連携と研究成果の社会実装を目指した産業界との幅広く緊密な連携により、科学技術の未来を拓き社会に変革をもたらす共創的イノベーション創出研究を推進する。研究力向上を目指した博士後期課程の重点化を推進する。

## ▶ 2 『しなやかな強さと共創力』を備え自主性に富んだグローバルリーダーの育成【教育】

意欲に溢れた学生を国内外から広く受け入れ、個々の学生の学修計画に対応し得る先進的な教育カリキュラムと世界トップレベルの研究を通じた専門性の高い研究室教育に加えて、産業界の知を教育にも活用することで、幅広い視野とともに『しなやかな強さと共創力』を備え自主性に富んだグローバルリーダーとして育成する。

## ▶ 3 高度でダイナミックな社会連携と人材循環による社会貢献【社会貢献】

世界トップレベルの研究を背景とした、高度でダイナミックな社会連携と多彩なリカレント教育による人材循環により、世界の持続的な発展に貢献する。

## ▶ 4 組織・業務改革と人事マネジメント改革に基づく戦略的経営【経営】

多様な取組による強固な財務基盤の構築とともに、デジタル化の推進による組織・業務改革と人事マネジメント改革により、世界トップの研究大学を目指すイノベーション創出拠点として戦略的経営を推進する。

# 基本戦略 1 の実施に向けた施策

- ▶ **1 独自の研究の高度化・先鋭化と新しい研究分野・研究領域の開拓**
  - IR機能の強化による研究力分析・動向分析を活用したエビデンスベースの研究支援
  - 新分野・新領域開拓支援制度の確立
  - 世界トップ人材の獲得
  - 研究力向上を目指した博士後期課程の重点化の推進
  - 博士後期課程学生の独自研究支援制度の確立
  - 東京サテライトにおける研究システムの改革
  
- ▶ **2 JAISTサイエンスハブの構築**
  - エクセレントコア、リサーチコアを核とするイノベーション創出拠点の発展
  - 国内外の大学や研究組織との多彩な連携研究センターの設立
  - クロスアポイントメントを含めた柔軟なグローバル研究ワークスタイルの促進
  - 研究者や学生の交流の場「JAIST国際セミナーハウス」の設置と活用
  
- ▶ **3 研究支援制度・体制の拡充**
  - URAの機能・役割の拡張と高度化
  - 研究成果の社会実装の推進と支援制度の確立
  - 大型外部資金獲得支援の強化
  - プロフェッショナル国際広報の促進
  - IR分析に基づく社会的インパクト向上策の充実
  - 知財部門の強化と効率化

# 基本戦略 2 の実施に向けた施策

- ▶ **1 『しなやかな強さと共創力』を涵養しリーダーシップを育む教育研究制度の充実**
  - 博士後期課程学生を中心とした世界のトップ大学とのグローバル共同研究への参画
  - 博士後期課程学生向け長期インターンシップ制度の展開
  - 博士後期課程における副テーマの博士学位論文評価への組み込み
  - 産業界と連携した学生の研究成果の社会実装支援制度の整備
  - グローバルリーダーとして育成するためのダイバーシティ環境とアントレプレナーシップ教育の充実
  
- ▶ **2 カリキュラムおよび教育システムの改革**
  - 研究領域毎の推奨カリキュラムの作成
  - 博士学位論文の質の向上を目指した審査・認定制度の改革
  - 「遠隔教育研究イノベーションセンター」の設置と教育研究におけるデジタル化の推進
  - 情報科学と知識科学の基礎と方法論の全学教育（データサイエンス、AI、知識マネジメントなど）
  - 東京サテライトにおける教育システムの改革と本校との講義の連携
  
- ▶ **3 意欲に溢れた多様な学生の獲得**
  - 博士後期課程も視野に入れた推薦入学制度の整備（教員推薦、大学推薦、企業推薦）
  - 入試システムのデジタル化推進
  - より広範な志願者向け広報の実施

# 基本戦略2の実施に向けた施策

- ▶ **4 産業界との連携を通じた共創型イノベーション人材の育成**
  - 企業との共同研究への学生の参加促進
  - 企業インターンシップ/エクスターンシップの活用
  - 産学官連携客員教員による研究指導や講義の実施
  
- ▶ **5 多様なニーズを踏まえた学生支援**
  - 修学支援制度の改革・充実（労働対価型）
  - 留学生および博士後期課程学生へのキャリア支援の充実
  - 博士後期課程学生に対する企業奨学金の充実

# 基本戦略3の実施に向けた施策

- ▶ **1 最先端研究・融合研究を背景とした高度でダイナミックな社会連携の推進**
  - 地域をはじめ国内外の産業界との連携支援体制の強化
  - 国内外の企業や研究機関などとの組織間大型共同研究の推進
  - 大学発ベンチャーなど研究成果の社会実装の推進と支援制度の確立
  - 「Matching HUB」の推進と全国展開による地域活性化／地方創生への貢献
  - 共同研究への学生の参加促進
  
- ▶ **2 産学官連携組織・体制の充実**
  - URAの機能・役割の拡張と高度化
  - 学内組織および制度の改革
  - 一般社団法人JAIST支援機構の活用
  
- ▶ **3 特色ある多様なリカレント教育の推進**
  - 社会人のニーズやライフスタイルに応じた教育プログラムの開発
  - 産業界を対象とした外部資金による「デジタル化支援センター」の設置
  - 社会人教育のデジタル化の推進
  - 東京サテライトと本校との講義の連携

# 基本戦略4の実施に向けた施策

## ▶ 1 強固な経営基盤の構築

- 大学総合戦略室の機能拡張と学長・理事懇談会の開催
- 多様な財源の確保による財務基盤の強化
- 一般社団法人JAIST支援機構の活用

## ▶ 2 業務運営におけるデジタル化の推進

- 事務作業・業務のデジタル化とそれに対応した組織作りの推進
- 働き方改革の推進

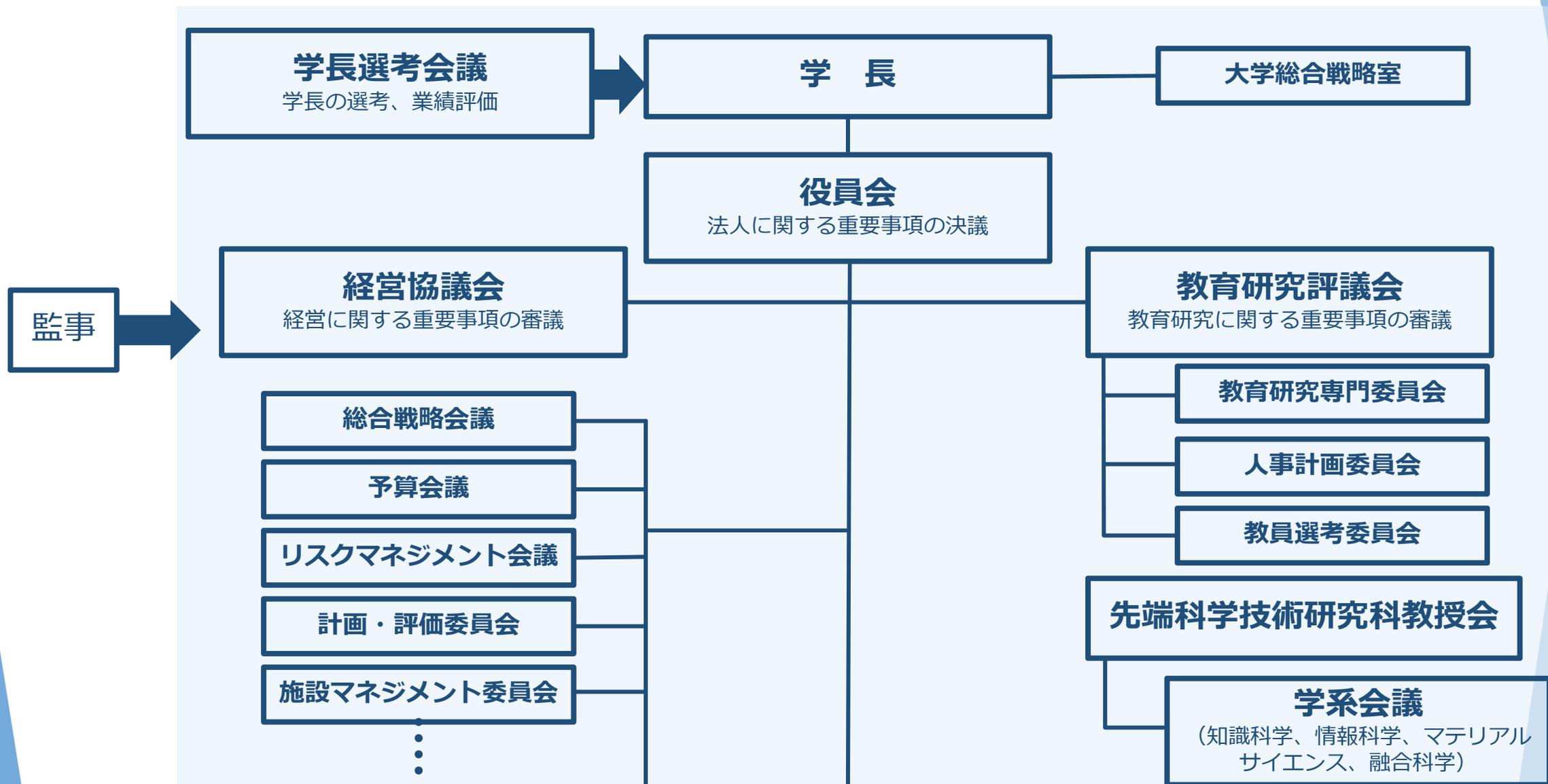
## ▶ 3 人事マネジメント改革の推進

- 職位別教員構成の長期的目標値の設定と実現
- テニユア・トラック制を活用した若手研究者の積極的採用
- 将来への希望や適性を反映し、女性管理職登用等を見据えた事務職員育成システムの構築
- 事務職員の他機関との人事交流の促進
- 教職員との「プレジデントダイアログ（学長との対話）」の継続的实施

## ▶ 4 大学運営の可視化と積極的な情報発信の推進

- 教育・研究におけるグローバル広報の推進
- ステークホルダーを意識した情報発信の推進
- 新聞・各種メディア等のマスコミの積極的活用

# 経営体制



# 経営体制

## 学長のリーダーシップを支えるガバナンス体制

### 1 経営戦略を実現するための執行体制

- 学長の補佐体制・政策立案機能を強化するための新たな組織として、令和2年10月に「大学総合戦略室」を創設
- 大学総合戦略室にIR機能を持たせ、学内外の教育研究、法人運営に関する情報の収集・分析により、重要施策に係る執行部の合意形成や学長の意思決定を支援
- 学長裁量経費、学長裁量スペースを確保し、重要施策に重点配分

### 2 教学部門の権限と責任の明確化

- 研究科に研究科長及び各学位プログラムの質保証の責任者となる学系長を置き、専門分野別の学系会議において教授会の権限を機能別に行使
- 学長の方針を構成員に直接伝える場として、研究科教授・准教授を構成員とする教授会を開催し、学長と構成員との対話機会を確保

### 3 外部からの意見等の反映

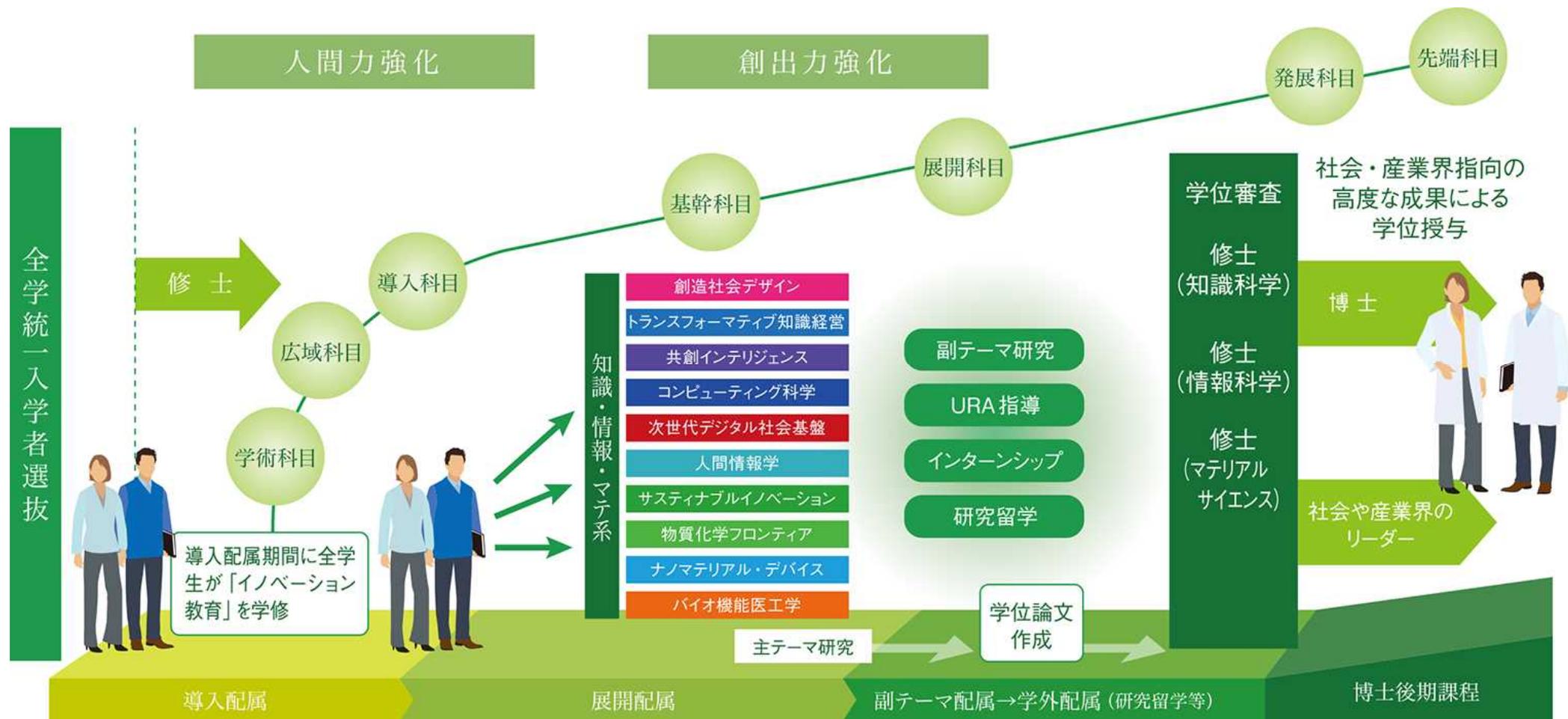
- 学長を中心としたPDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルに基づく全学的な内部質保証システムを整備し、学外有識者の意見や、法令に定められた大学評価の結果等を法人運営の改善に活用

### 4 業務の適正を確保する内部統制

- 公的研究費の不正防止計画に基づくモニタリング、構成員へのコンプライアンス教育を実施
- 業務の障害となる様々なリスクの分析・評価により、リスクを組織的に管理

# 教育システムの特徴

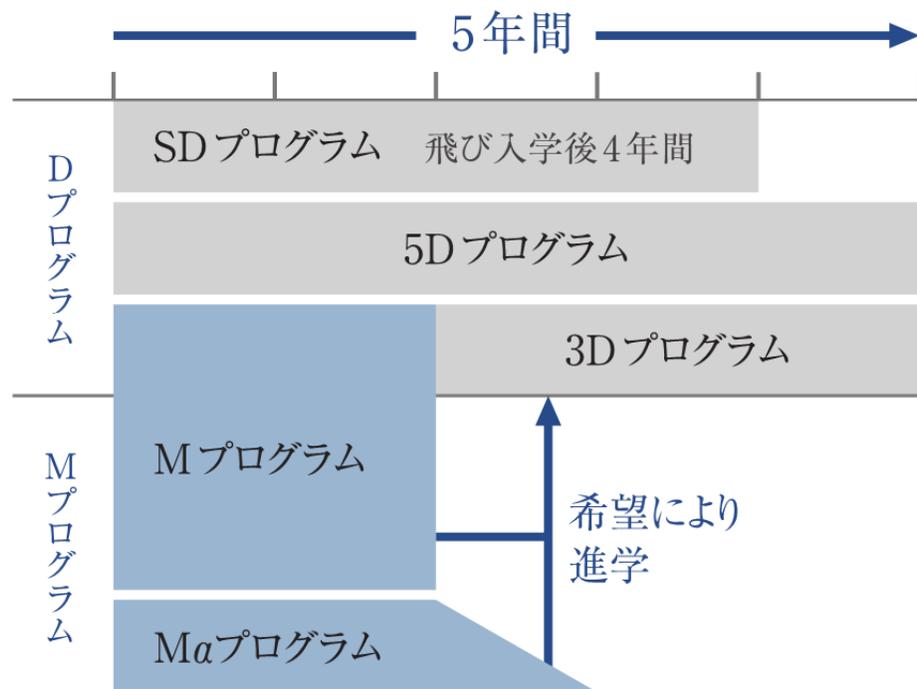
## 教育体系



# 教育システムの特徴

## 教育体系

### 教育プログラム



### 教育内容

- 「知識科学的イノベーションデザイン教育」「人間力強化プログラム」「創出力強化プログラム」を組み合わせ全学展開
- きめ細かな履修指導  
キャリア目標、学修歴、研究計画等を踏まえ、「学修計画・記録書」に沿って指導
- 複数指導教員制  
学生1人に対して、主指導教員・副指導教員・副テーマ指導教員又はインターンシップ指導教員の3人が教育・研究を指導
- 産学連携による共創的実践教育
- 「クォーター制」と「チュートリアルアワー」

# 教育システムの特徴

## 目指す人材像

### 博士前期課程

幅広い基盤的専門知識を理解し、  
問題解決に応用できる能力

### 博士後期課程

高い研究能力と俯瞰的な視野をもち、  
問題発見と解決ができる能力



- 先進的な教育カリキュラム
- 世界トップレベルの研究を通じた  
専門性の高い研究室教育
- 産業界の知の活用
- ダイバーシティ環境

先端科学技術の確かな専門性を持ち、新たな時代を先導する  
**しなやかな強さと共創力**を備えたグローバルリーダーを育成します

# 学生の状況

## 学生数

令和4年5月1日現在

研究科・専攻	博士前期課程・修士課程				博士後期課程					合計
	入学定員	1年	2年	合計	入学定員	1年	2年	3年	合計	
先端科学技術研究科 (先端科学技術専攻)	282	271 (57) [91]	459 (76) [148]	730 (133) [239]	90	102 (30) [61]	87 (21) [46]	237 (65) [107]	426 (116) [214]	1156 (249) [453]
先端科学技術研究科 (融合科学共同専攻)	10	10 (0) [2]	14 (1) [4]	24 (1) [6]	5	1 (0) [1]	5 (1) [3]	3 (0) [2]	9 (1) [6]	33 (2) [12]
情報科学研究科								2 (0) [0]	2 (0) [0]	2 (0) [0]
合計	292	281 (57) [93]	473 (77) [152]	754 (134) [245]	95	103 (30) [62]	92 (22) [49]	242 (65) [109]	437 (117) [220]	1191 (251) [465]

※各学年とも10月入学者を含む。なお、博士後期課程は7月入学者を含める。( )は女子で内数、[ ]は外国人留学生で内数

# 学生の状況

## 入学者内訳

令和4年4月入学

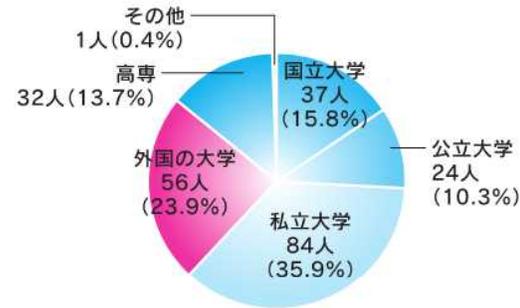
### 博士前期課程

入学者合計234人

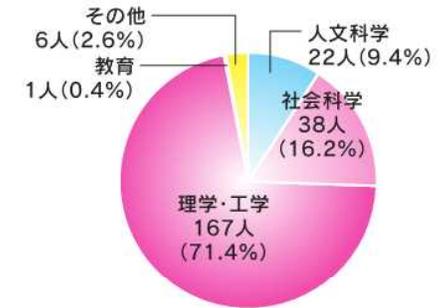
学生・社会人別



出身大学設置形態別

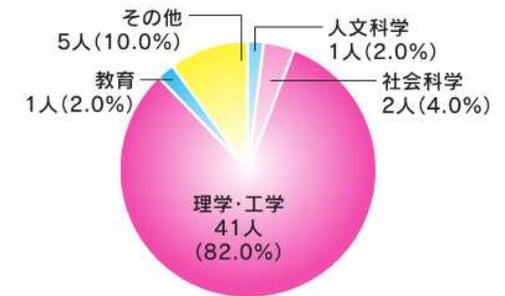
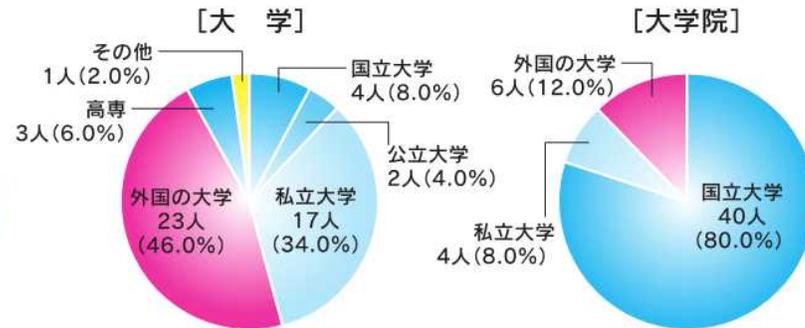


出身分野別



### 博士後期課程

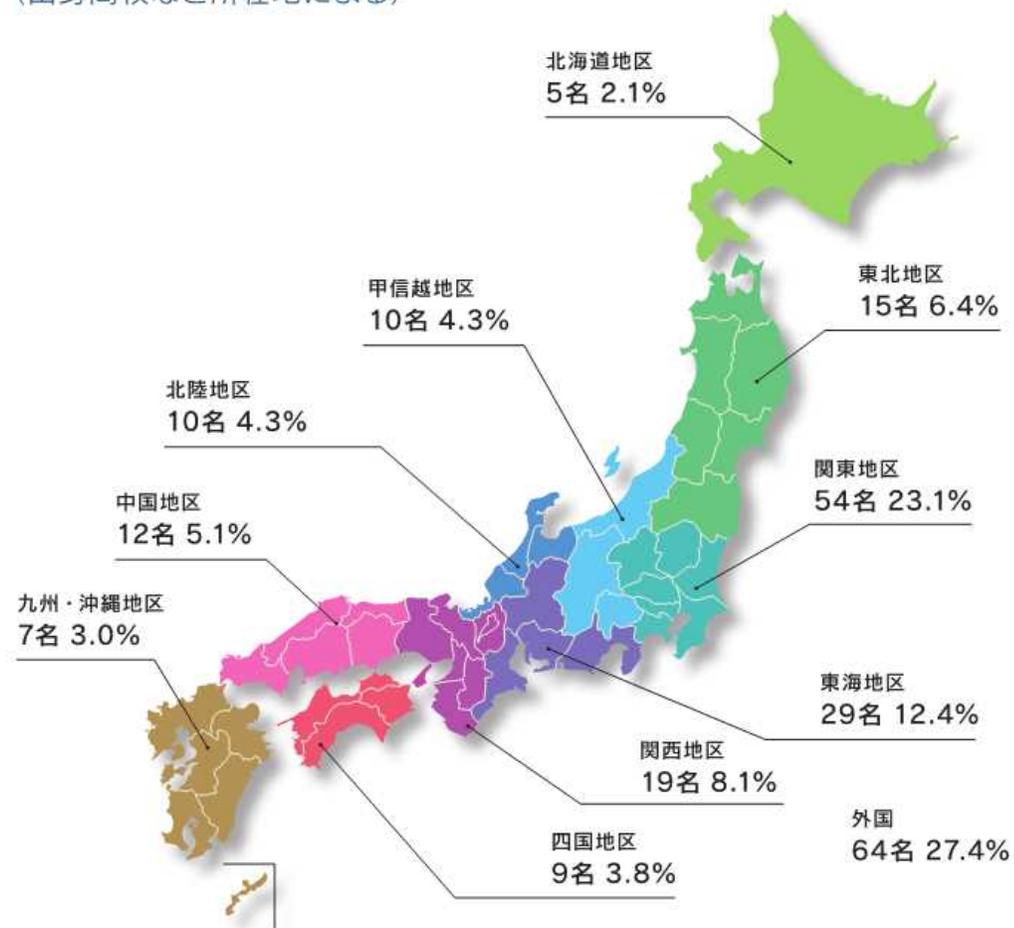
入学者合計50人



# 学生の状況

## 入学状況

令和4年4月博士前期課程入学者の地区別分布  
(出身高校など所在地による)

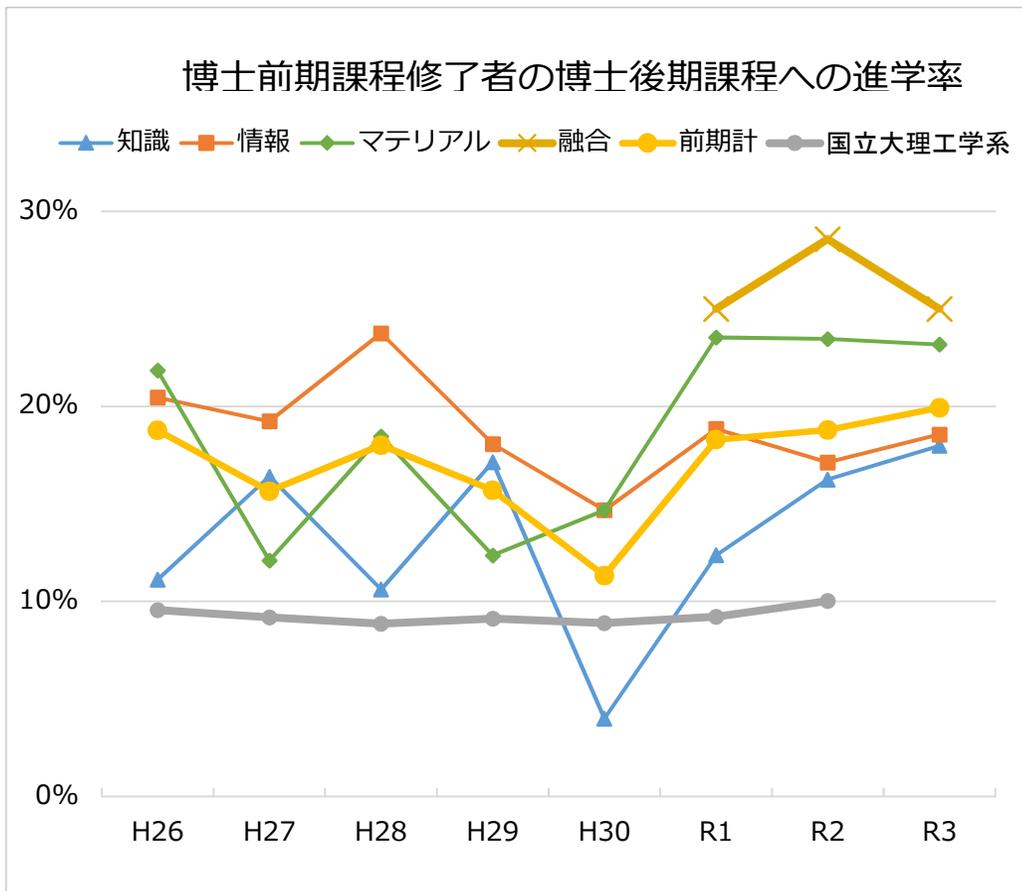


## 学位授与状況

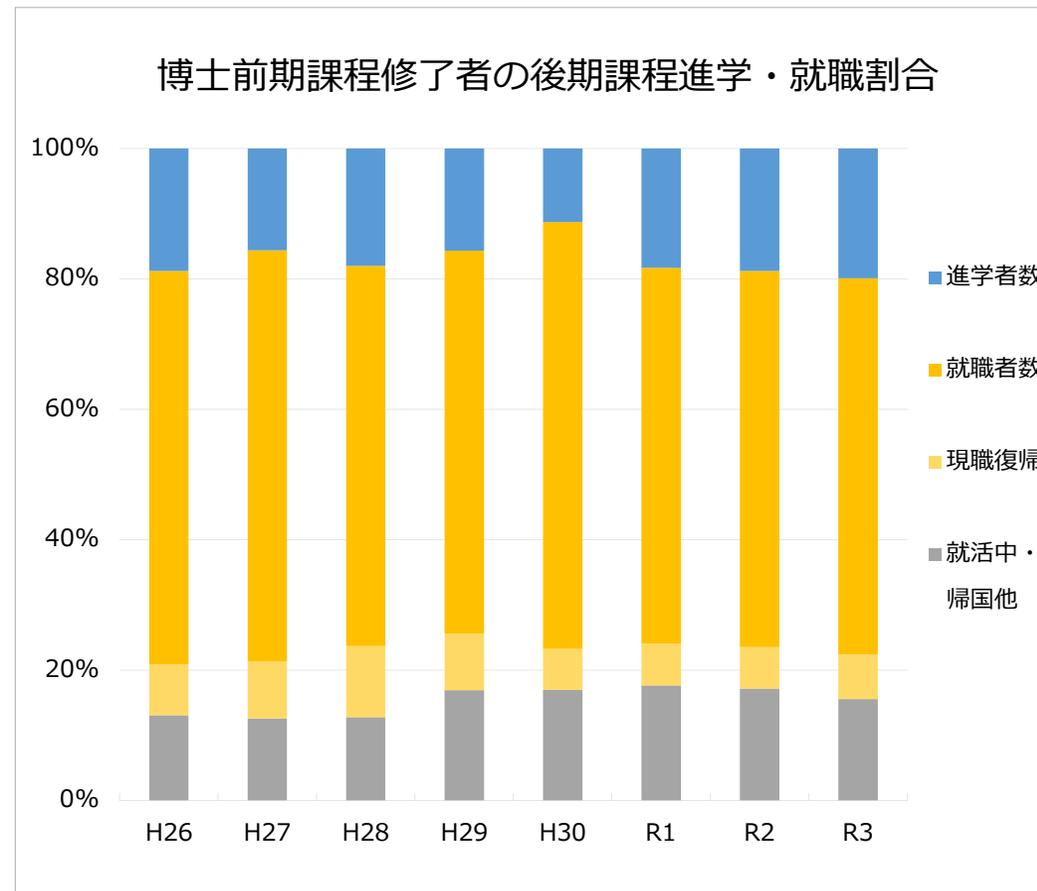
単位：件 令和3年度末

学位	修士		博士	
	令和3年度	累計	令和3年度	累計
知識科学	89	1781	18	303
情報科学	97	2830	16	469
マテリアルサイエンス	82	2708	26	541
融合科学	8	23	—	—
合計	276	7342	60	1313

# 進学率・就職者比率

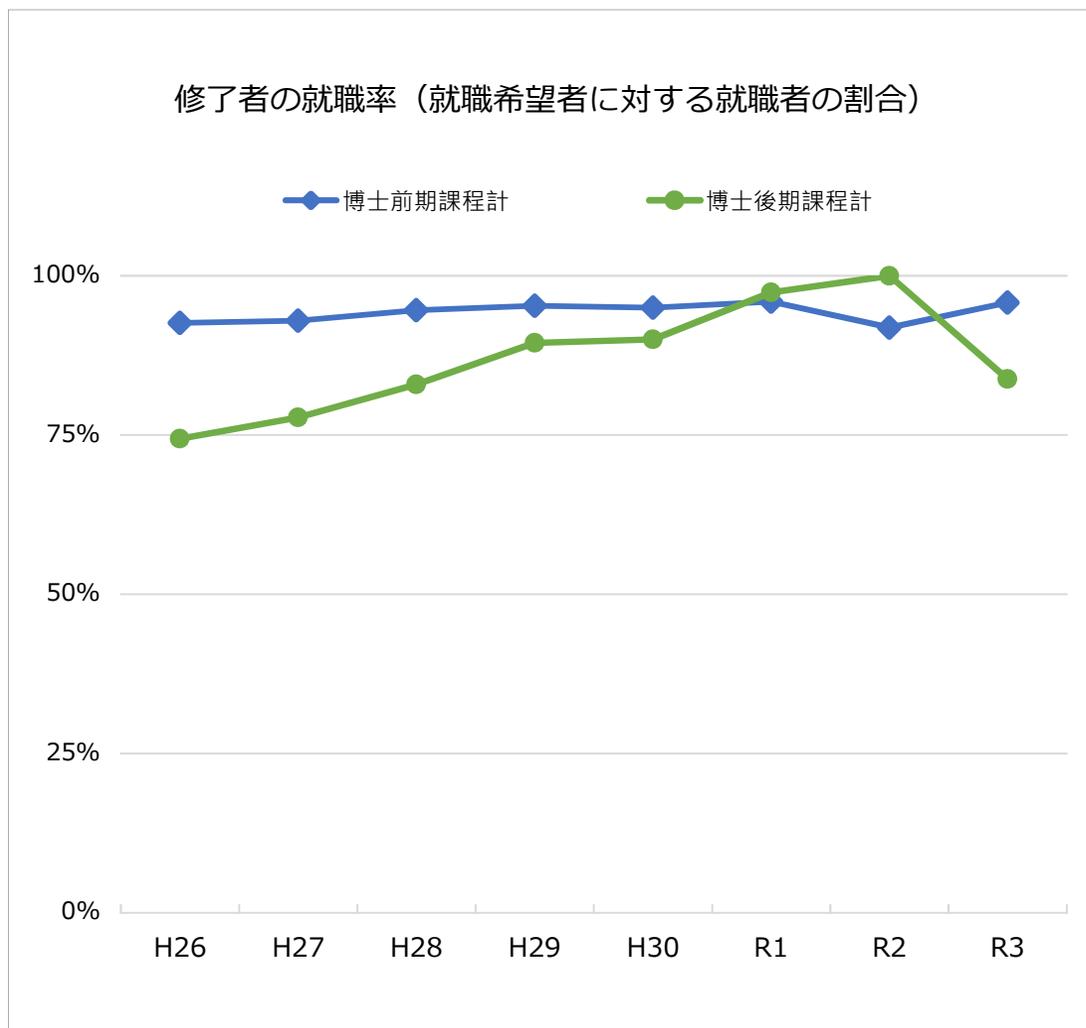


- 令和3年度博士前期課程修了者の博士後期課程への進学率は、前年度より1.1%高い19.9%と、平成30年度を底に3年連続で回復傾向である。



- 就職者比率（進学者を除く修了者に対する就職者の割合）は、博士前期課程修了者全体では前年度から1.7%増の80.5%、同後期課程では同7.7%低下の78.7%となった。

# 進学率・就職者比率



- 就職希望者に対する就職者の割合である就職率は、理工系人材に対する産業界からの旺盛な需要を背景に引き続き高水準で推移している。
- 博士前期課程修了者全体では前年度より3.9%高い95.8%、同後期課程では特に留学生修了者において就職先未定者が若干数発生した結果、前年度からやや低下し83.8%となった。

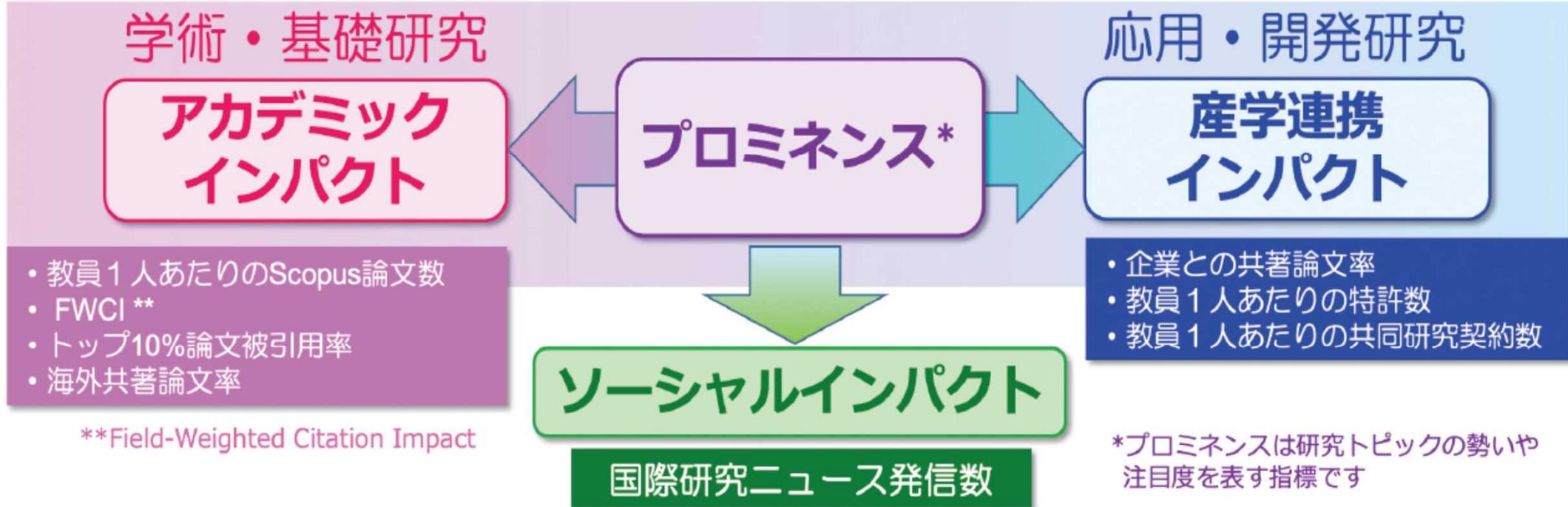
# 研究の特徴

## 研究領域 (2022年4月～)

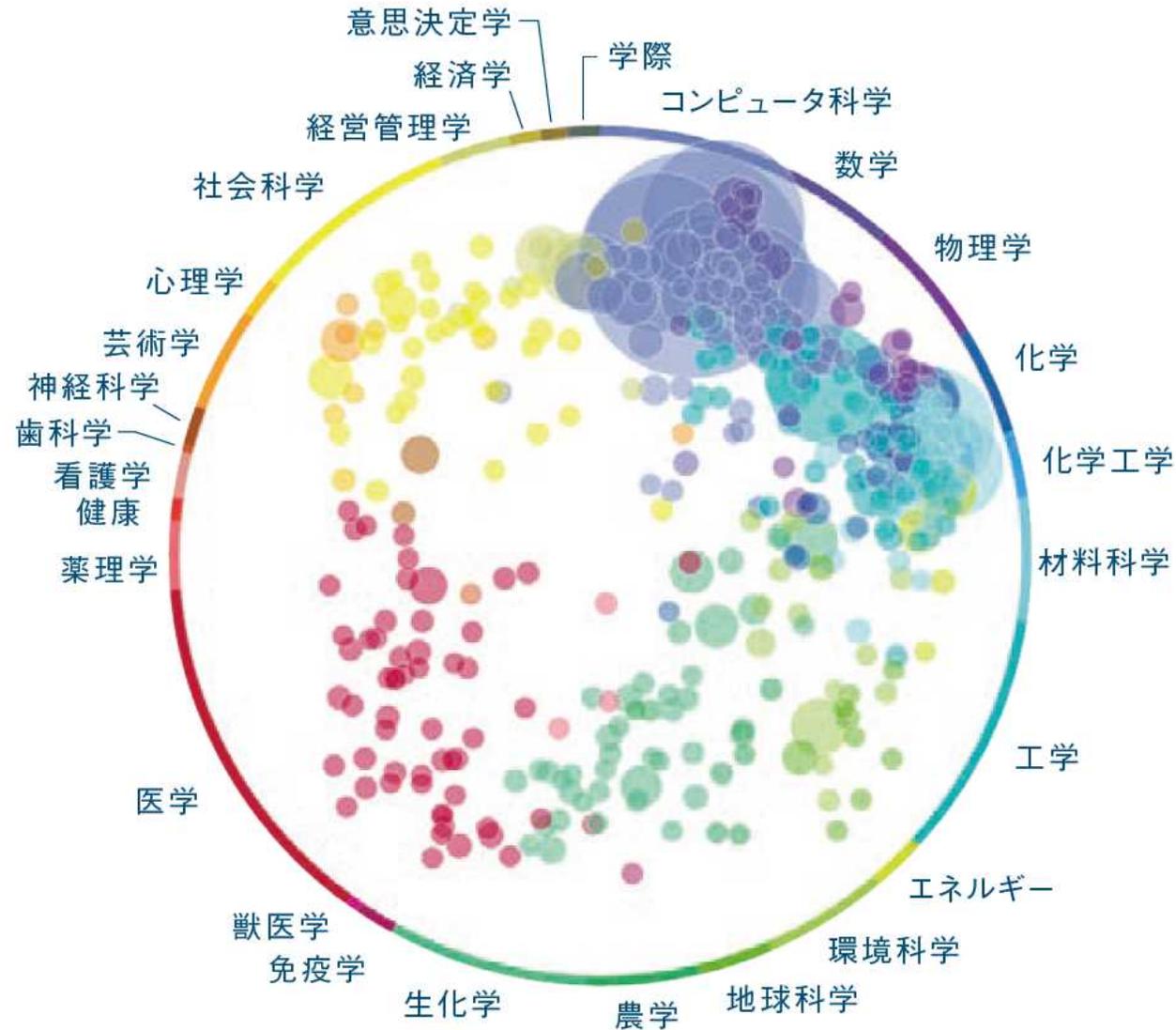
研究領域名	概要	キーワード
創造社会デザイン 研究領域	誰もが輝く創造社会をデザイン！ 科学・技術・芸術を融合・超越する豊かな生活のための知の冒険	創造性支援、ソーシャルネットワーク、デザイン思考、ヒューマンコンピュータインタラクション、メディアインタラクション、ビジュアルコンピューティング、防災科学、レジリエンス工学、ネットワーク科学、コラボレーション、異文化理解、行動変容技術、身体性認知、STEAM教育、データ科学/AI応用
トランスフォーマティブ知識経営研究領域	人間がウェルビーイングを実感・追求できる社会の推進に向けた変革志向の知識経営理論の構築および実践的問題解決を目指す	ウェルビーイング、知識創造、組織変革、サステナビリティ、価値デザイン、IoTデザイン、持続可能性、医療現場のエスノグラフィ、ビジネスエスノグラフィ、次世代観光サービス創造、サービスインテリジェンス、人工知能
共創インテリジェンス研究領域	テクノロジーと人間の共創的な知識創造の研究を通じて、高度知識社会を持続的に発展・進展させる新たな知性を探索する	知識科学、知識創造、認知科学、データ科学、人工知能、言語・コミュニケーション、言語の哲学、意思決定論、メタ認知、教育工学、複雑系、創発・進化・制度、機械学習、計算科学、社会言語学、言語政策、創造プロセス、アイデア創出、経験学習、協調学習、学習プロセスデザイン
コンピューティング科学研究領域	計算を科学し、計算できることの限界を知り、膨大なデータから正しい結論を導く方法を明らかにする	情報科学、情報セキュリティ、数理論理学、人工知能、定理自動証明、形式手法、理論計算機科学、データサイエンス、分散システム、アルゴリズム、情報理論
次世代デジタル社会基盤研究領域	未来の社会を実現し、人類の発展を支える次世代情報システムの研究を推進	スマートシティ、サイバーセキュリティ、IoT、インターネット、情報システム、組み込みシステム、ソフトウェアエンジニアリング、次世代ワイヤレス通信、超LSI設計法、情報理論
人間情報学研究領域	人間の情報処理機構を解明し、より高度な情報処理システムへと応用する	知覚・知能情報処理、社会的信号処理、マルチモダリティ、コミュニケーション、教育・学習工学、ゲーム情報学、自然言語処理、音声情報処理、画像・映像情報処理、ヒューマンインタフェース、知能ロボティクス、ソフトロボット、触覚センシング
サステナブルイノベーション研究領域	持続可能な環境エネルギー・経済社会システム構築のためのイノベーションを！	持続可能エネルギー、熱電、太陽電池、人工光合成、天然分子、バイオプラスチック、サイレントボイスセンシング、マテリアルズ・インフォマティクス、人工知能理論、量子シミュレーション
物質化学フロンティア研究領域	化学分野の先端知識を用いて新材料を分子・原子レベルで設計することを通して、物質化学のフロンティアを開拓する	ナノ材料化学、高分子化学、グリーンケミストリー、触媒化学、エネルギー関連材料、環境調和材料、バイオマテリアル、マテリアルズ・インフォマティクス、ナノマシン、高速AFMイメージング、レオロジー
ナノマテリアル・デバイス研究領域	ナノマテリアル・デバイスの先端科学技術を究め、サステナブルな超スマート社会の実現を目指す	ナノ粒子×バイオ・エネルギー、ナノワイヤ×スピンドバイス、二次元材料×先端顕微鏡、ナノイメージング×分光、原子分解能観察×オペランド計測、非線形光学顕微鏡×対称性の破れを持つ材料、ナノ分光×超微量分析、スピントロニクス×量子センシング、半導体エレクトロニクス×デバイス計測技術、トランジスタ×機能性材料、ナノペーパーデバイス×低温結晶化プロセス、有機デバイス×オペランド解析、マテリアルサイエンス×DX・データ
バイオ機能医工学研究領域	バイオ機能の理解に基づく先端バイオテクノロジー研究とバイオメディカル分野への応用展開	バイオテクノロジー、バイオメディカル、タンパク質、DNA/RNA、生体膜、糖鎖、バイオ分子解析、人工バイオ分子創出、バイオデバイス、遺伝子編集、分子ロボティクス

# 研究の特徴

イノベーション創出を目的とする研究大学として、  
3つの研究成果インパクトとプロミネンスで研究力を総合的に分析・評価し、更なる研究力の  
向上に努めています。



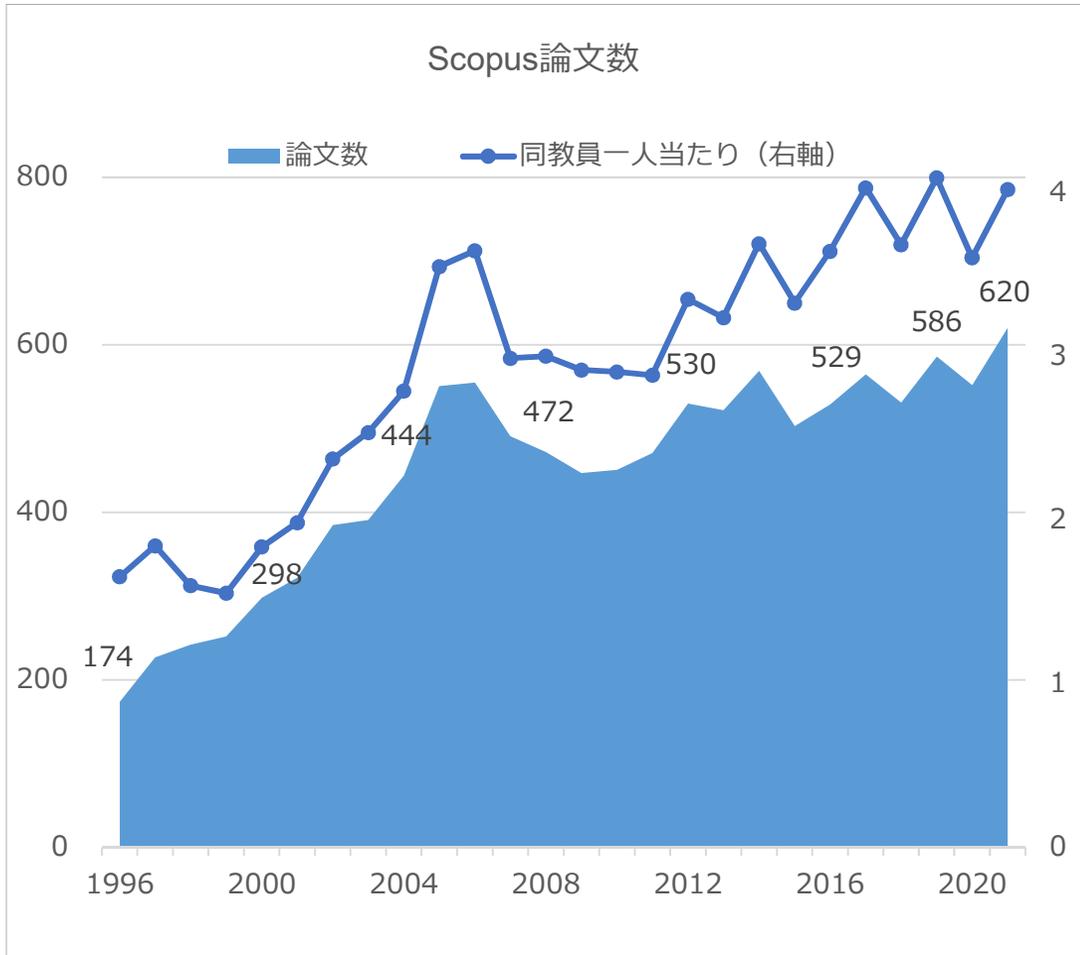
# 研究の特徴



円の大きさは各研究分野における論文数（2016年-2021年）を表す

(出典：ELSEVIER社©SciVal)

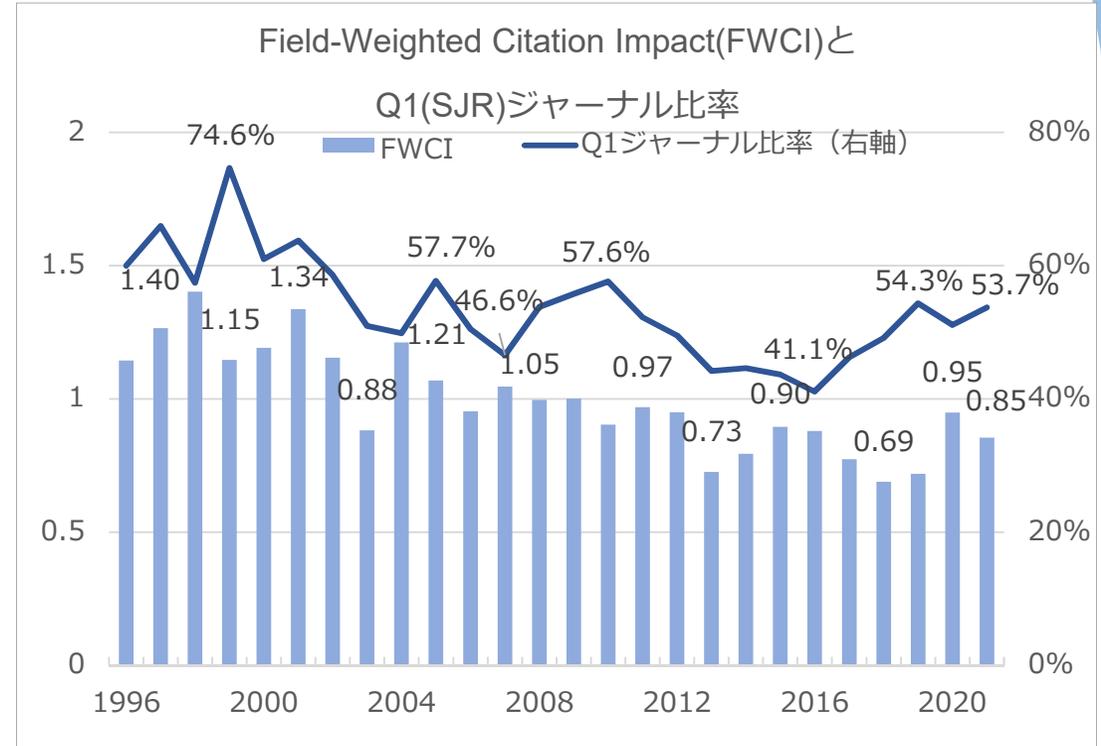
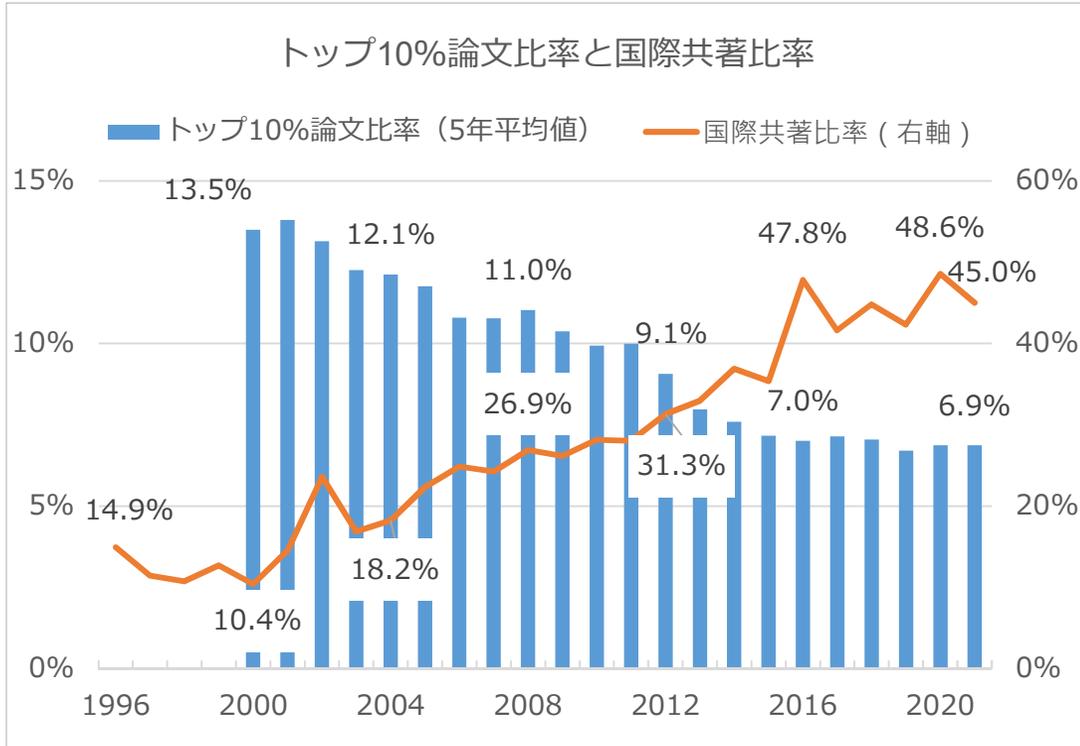
# 学術論文 (暦年推移)



量的指標であるScopus論文数（論文タイプ：Article, Conference Paper, Review）は、2021暦年ベースで前年から12%増の620編と過去最高を更新した。

同教員一人当たりで見ると、前年から0.4編増の4.0編と過去最高に並ぶ水準であった。

# 学術論文 (暦年推移)



質的指標である被引用数トップ10%論文比率は、2008年前後を境に近年は10%割れとなり、2021単年ベースでは8.1%であった。当該指標は被引用数の伸びに従い初期段階では変動しやすいため、3~5年平均値でみるのが一般的であることから、2016~20年の5年平均値でみると6.9%と、ここ数年間は横這いで推移している。ただ、同指標の算出元データであるFWCI(相対被引用インパクト)は直近、底打ちからやや回復傾向にある。また、ジャーナル評価指標SJRが上位25%以内であることを示すQ1ジャーナル比率は、直近3年連続で5割強を維持している。

国際共著比率はほぼ一貫して上昇傾向にあり、2016年以降はいずれも40%を上回っている。2021暦年も45.0%と、前年に記録した過去最高値の48.6%はやや下回ったが、引き続き高水準を維持している。

# 財務諸表等の概要について

令和3事業年度

# 貸借対照表

## 資産の部

本学の決算日（3月31日）における全ての資産、負債及び純資産を記載することにより、財政状態を明らかにしています。

（単位：百万円）

科目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R2からの増減
<b>固定資産</b>							
土地	1,462	1,462	1,462	1,462	1,462	1,462	0
建物等	9,413	9,100	9,396	9,163	8,965	8,894	▲71
機械装置・工具器具備品	3,099	2,956	2,629	2,512	2,391	2,640	248
図書・美術品	961	967	970	976	985	994	8
車両運搬具	9	15	10	8	6	3	2
建設仮勘定	4	211	4	0	0	0	0
特許権等	54	47	49	49	46	46	0
差入敷金・保証金等	79	79	79	79	80	80	0
<b>流動資産</b>							
現金・預金	2,051	2,192	2,195	2,274	2,239	2,720	480
未収入金							
（未収学生納付金収入）	8	11	11	12	8	6	▲2
（その他未収金）	124	152	184	16	6	6	0
その他	50	54	25	27	68	76	8
<b>資産合計</b>	<b>17,320</b>	<b>17,253</b>	<b>17,019</b>	<b>16,583</b>	<b>16,261</b>	<b>16,932</b>	<b>671</b>

※ 百万単位未満を切り捨てしており、計は必ずしも一致しません。（以下同様）

# 貸借対照表

## 負債の部

(単位：百万円)

科目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R2からの増減
<b>固定負債</b>							
資産見返負債	2,415	2,714	2,639	2,630	2,583	2,627	43
長期未払金	1,392	1,436	1,125	1,021	939	1,090	151
その他	97	70	117	91	92	93	0
<b>流動負債</b>							
運営費交付金債務	7	3	0	35	94	0	▲94
寄附金債務等	484	389	431	383	397	359	▲37
未払金	1,703	1,809	1,975	1,852	1,311	1,806	494
その他	185	161	139	131	259	229	▲30
<b>負債合計</b>	<b>6,285</b>	<b>6,584</b>	<b>6,428</b>	<b>6,147</b>	<b>5,678</b>	<b>6,207</b>	<b>528</b>

# 貸借対照表

## 純資産の部

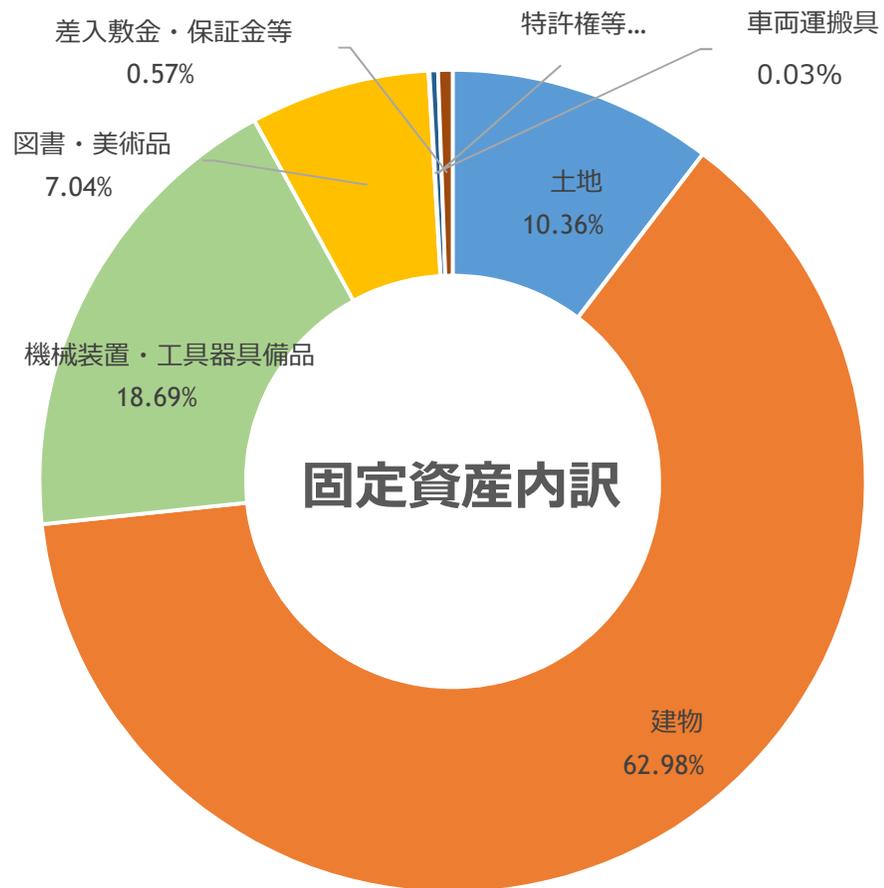
(単位：百万円)

科目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R2からの増減
資本金	16,017	16,017	16,017	16,017	16,017	16,017	0
資本剰余金	▲5,723	▲6,212	▲6,187	▲6,351	▲6,411	▲6,435	▲24
利益剰余金							
前中期目標期間繰越積立金	190	122	122	122	122	122	0
目的積立金	0	550	516	382	448	514	65
積立金	0	0	0	0	0	39	39
当期未処分利益	550	191	122	264	405	497	61
<b>純資産合計</b>	<b>11,035</b>	<b>10,669</b>	<b>10,591</b>	<b>10,436</b>	<b>10,582</b>	<b>10,725</b>	<b>142</b>

<b>負債・純資産合計</b>	<b>17,320</b>	<b>17,253</b>	<b>17,019</b>	<b>16,583</b>	<b>16,261</b>	<b>16,932</b>	<b>671</b>
-----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	------------

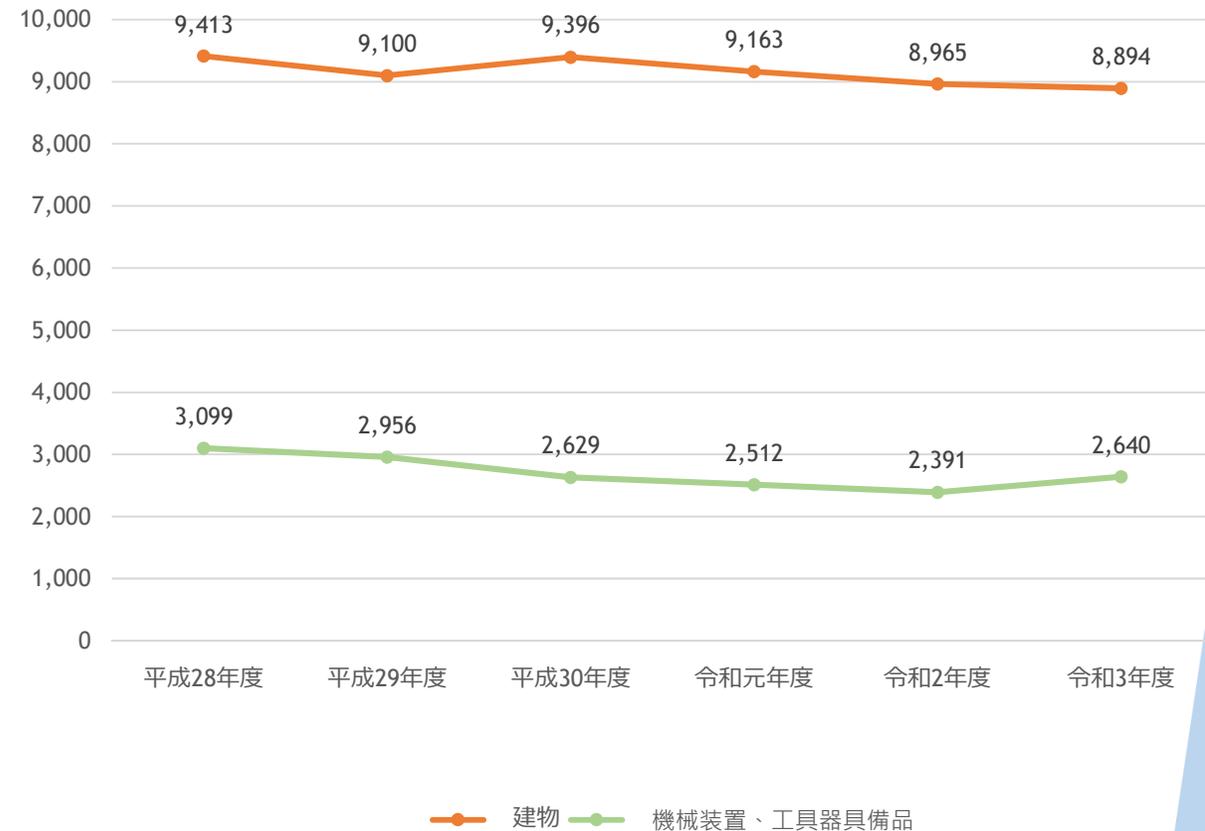
# 貸借対照表

## 得られる情報①



建物等及び機械装置、工具器具備品の推移

(単位：百万円)

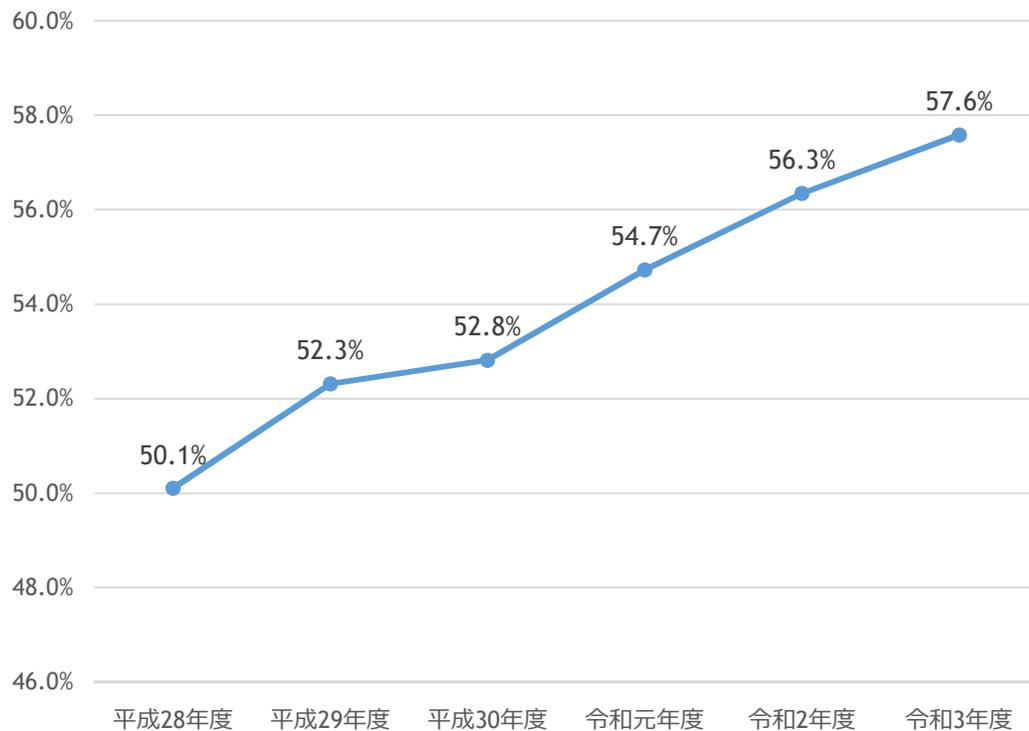


# 貸借対照表

## 得られる情報③

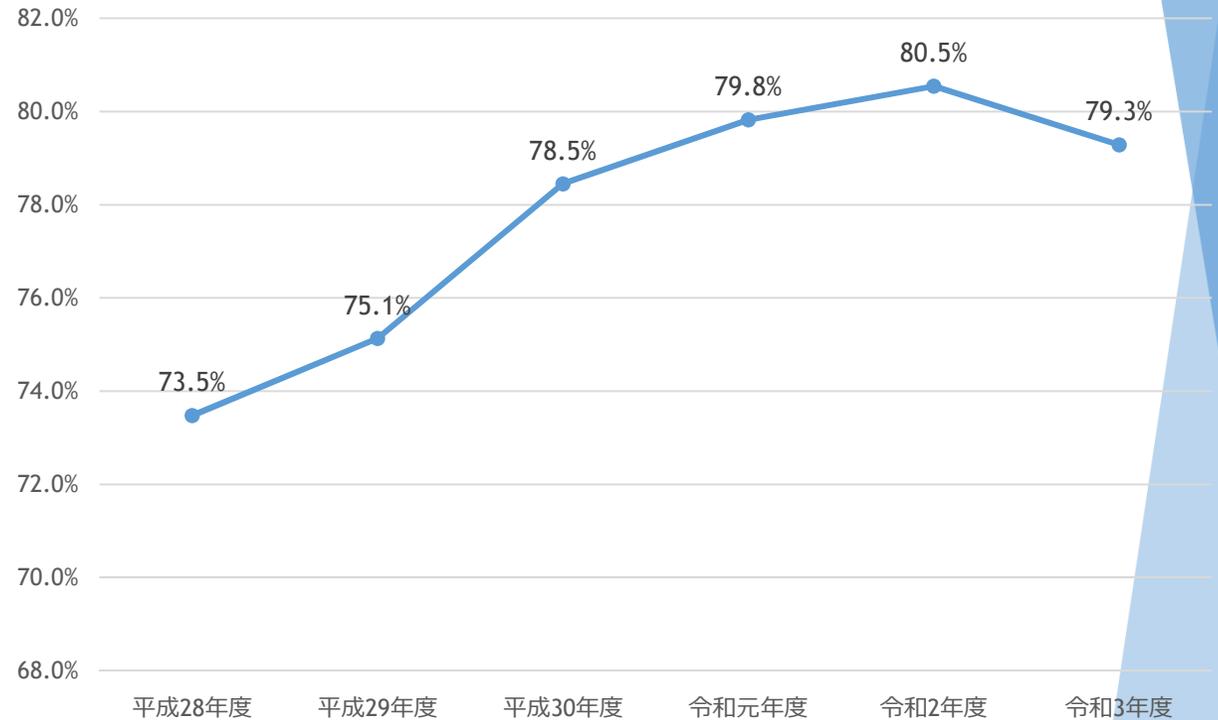
建物等老朽化比率

(減価償却額累計額／固定資産額)



機械装置、工具器具備品老朽化率

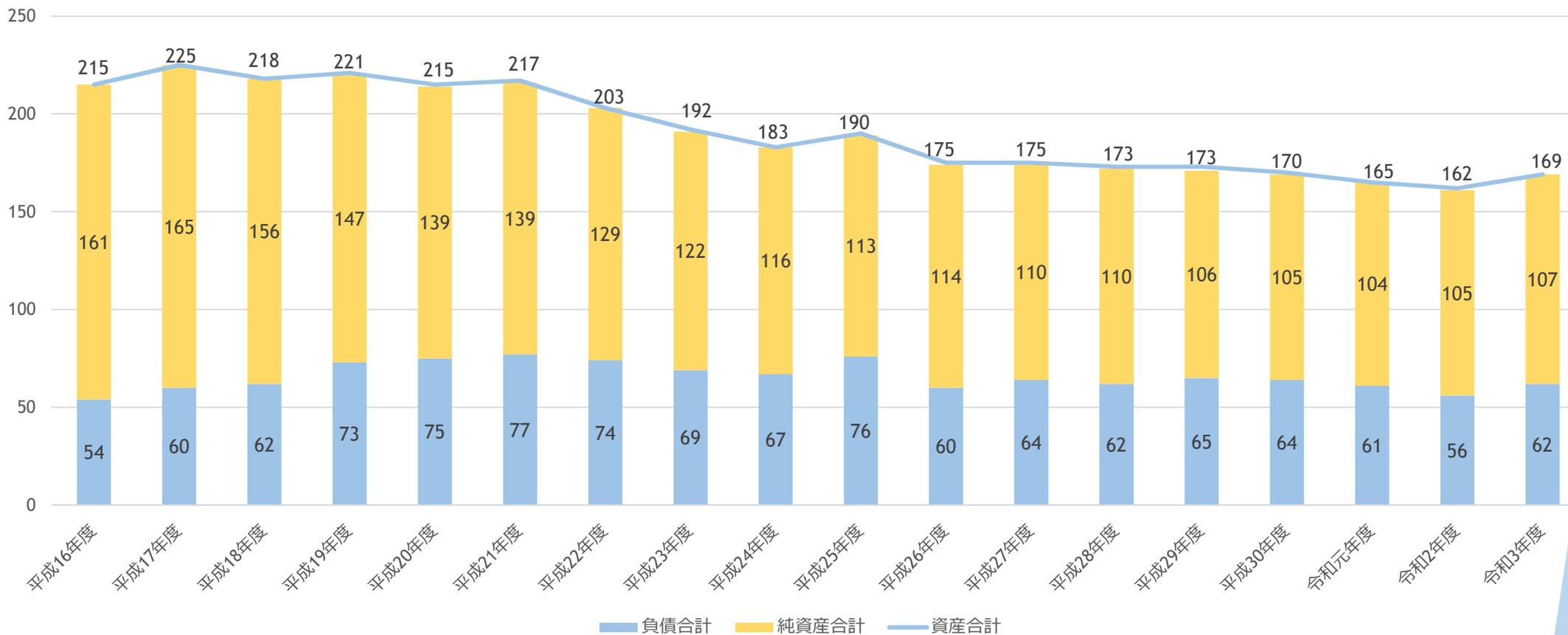
(減価償却累計額／固定資産額)



# 貸借対照表

## 得られる情報⑤

貸借対照表金額経年変化（単位：億円）



# 貸借対照表

## 得られる情報⑥

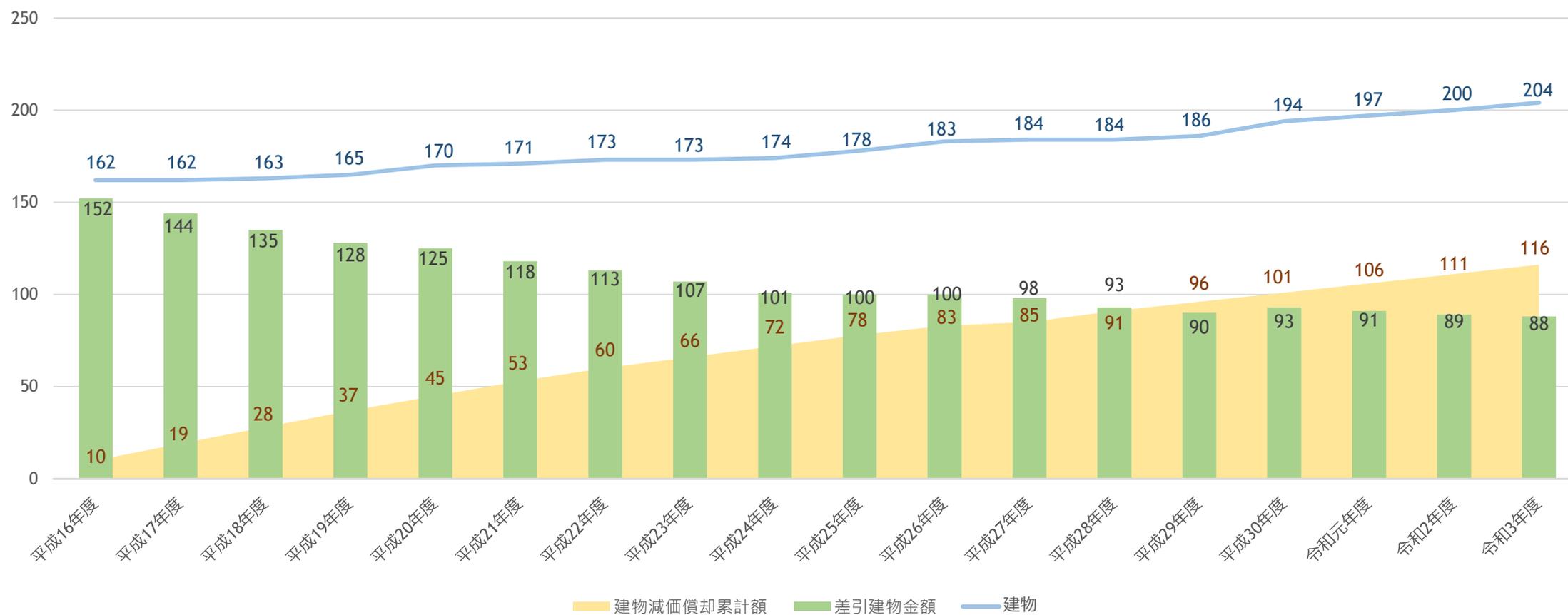
資産内訳 (単位：億円)



# 貸借対照表

## 得られる情報⑦

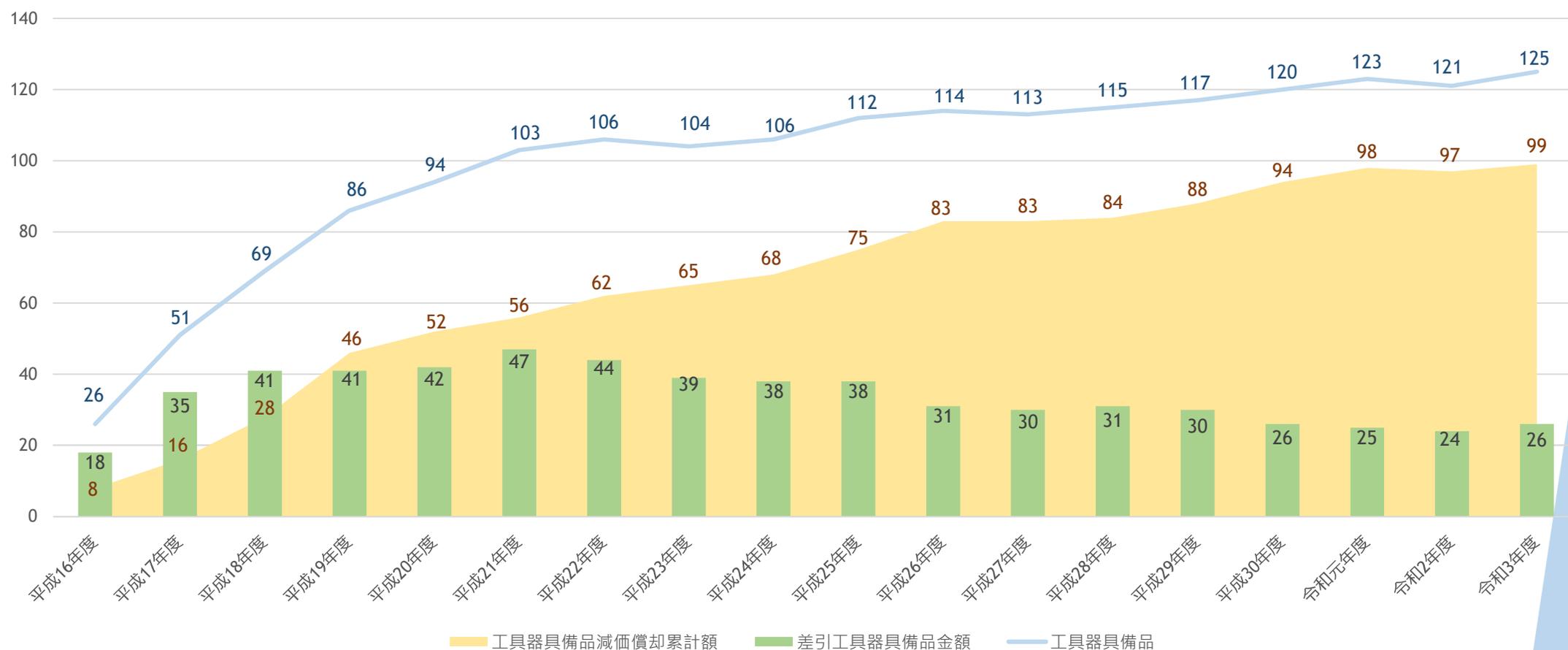
建物の状況（単位：億円）



# 貸借対照表

## 得られる情報⑧

工具器具備品の状況（単位：億円）



# 損益計算書

本学が1会計期間（4月1日～3月31日）に実施した事業等により発生した全ての費用と収益を記載することにより、運営状況を明らかにしています。

（単位：百万円）

科目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R2からの増減
<b>経常費用</b>							
教育経費	794	744	831	790	769	731	▲38
研究経費	736	845	762	919	731	779	47
教育研究支援経費	1,360	1,249	1,291	1,272	1,199	1,230	30
受託研究費等	779	824	792	707	540	661	121
人件費	2,940	2,909	2,949	2,997	3,033	3,079	46
一般管理費	362	433	468	402	388	380	▲7
財務費用	5	13	9	16	23	16	▲6
その他	0	0	0	0	4	3	0
<b>経常費用合計</b>	<b>6,979</b>	<b>7,020</b>	<b>7,105</b>	<b>7,106</b>	<b>6,690</b>	<b>6,882</b>	<b>192</b>
<b>臨時損失</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>6</b>	<b>1</b>	<b>▲4</b>
<b>当期総利益</b>	<b>550</b>	<b>191</b>	<b>122</b>	<b>264</b>	<b>405</b>	<b>467</b>	<b>61</b>

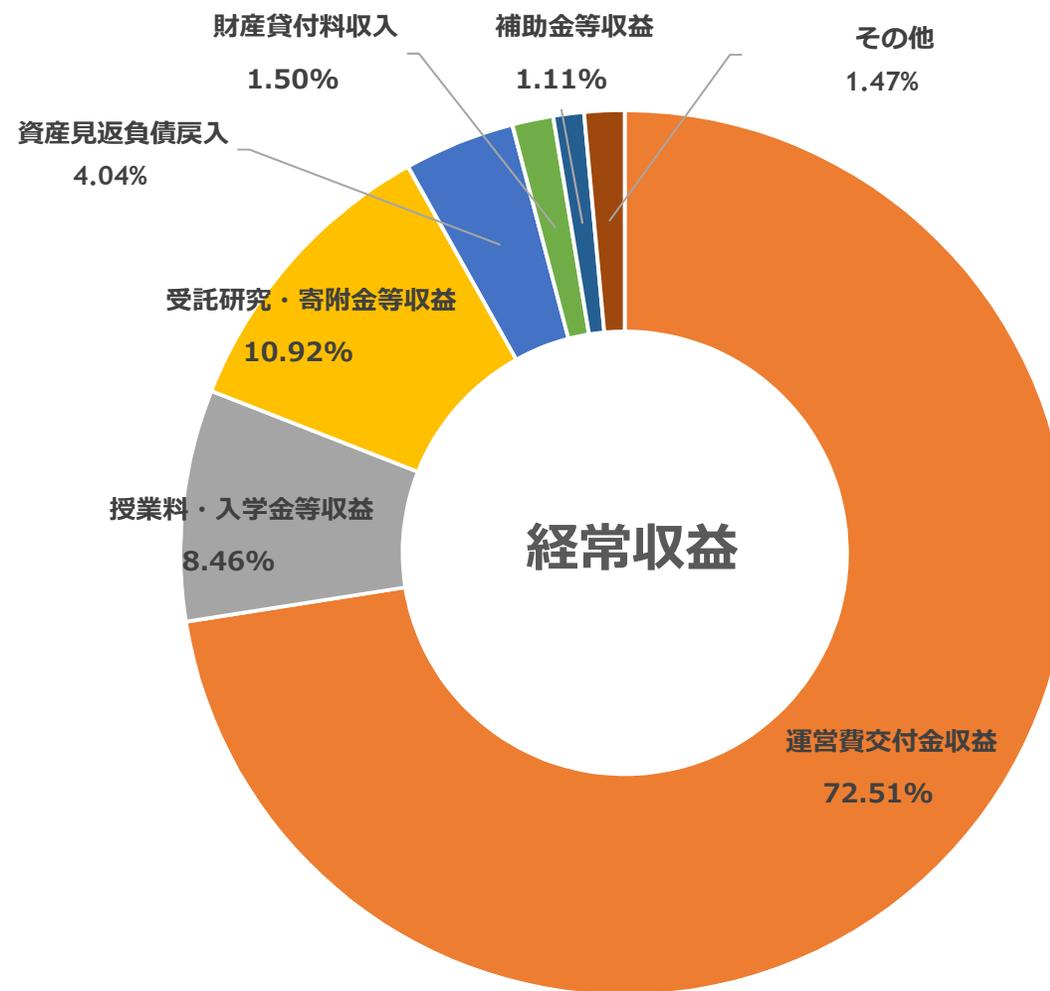
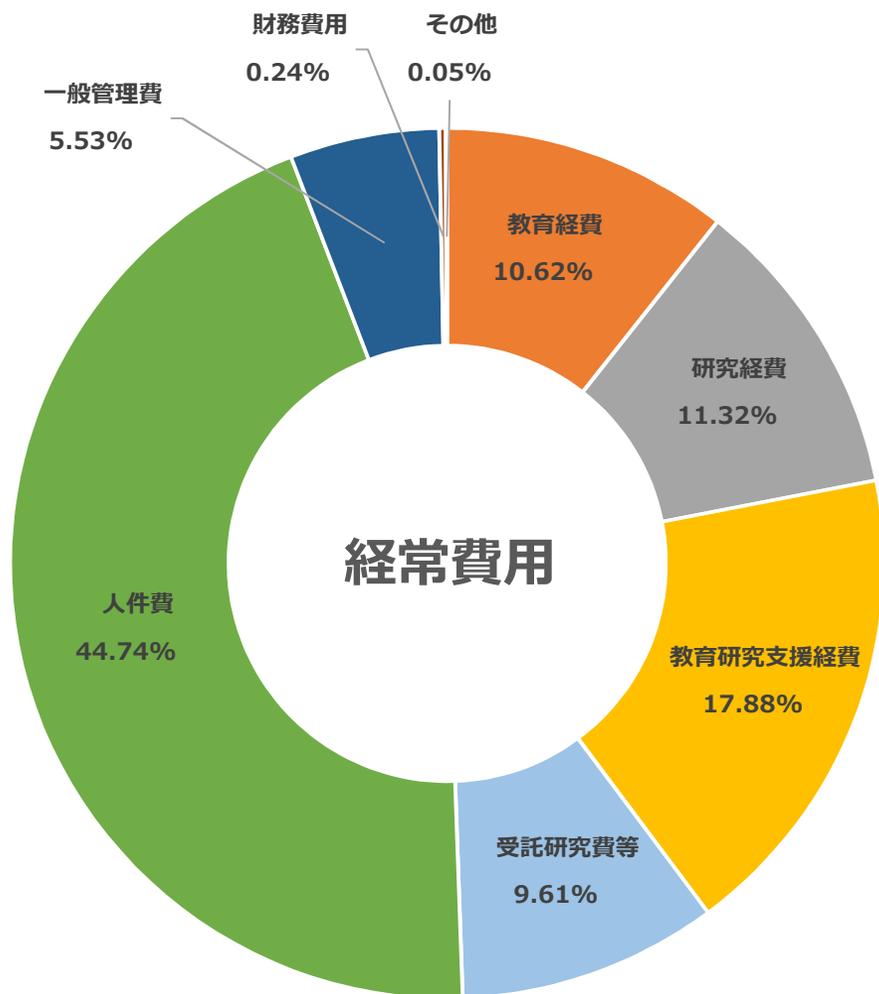
# 損益計算書

(単位：百万円)

科目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R2からの増減
<b>経常収益</b>							
運営費交付金収益	5,153	4,928	4,918	5,142	5,166	5,255	88
授業料・入学金等収益	584	592	687	693	656	612	▲43
受託研究・寄附金等収益	957	1,036	993	879	694	791	96
資産見返負債戻入	326	308	277	273	287	293	5
補助金等収益	259	133	83	26	26	80	54
財産貸付料収入	127	121	120	129	119	108	▲11
その他	89	90	77	80	87	106	18
<b>経常収益合計</b>	<b>7,497</b>	<b>7,212</b>	<b>7,157</b>	<b>7,224</b>	<b>7,040</b>	<b>7,248</b>	<b>208</b>
<b>臨時収益</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>74</b>	<b>74</b>
<b>目的積立金取崩額</b>	<b>35</b>	<b>0</b>	<b>71</b>	<b>148</b>	<b>62</b>	<b>29</b>	<b>▲33</b>

# 損益計算書

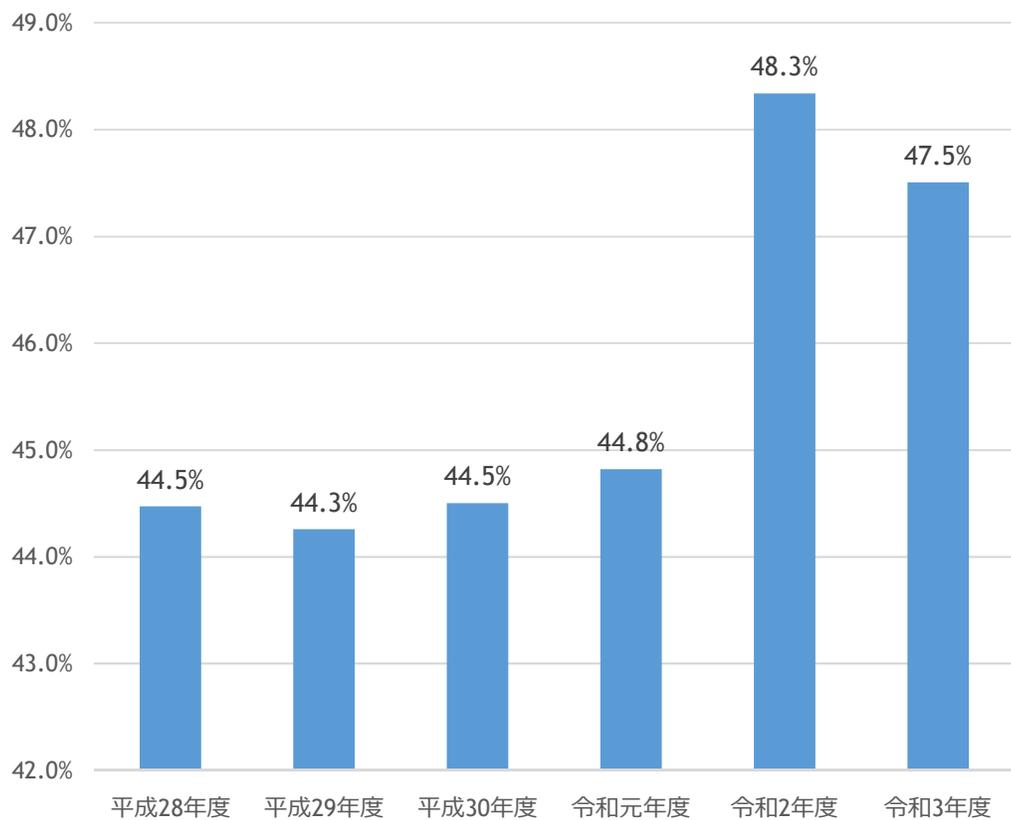
## 得られる情報①



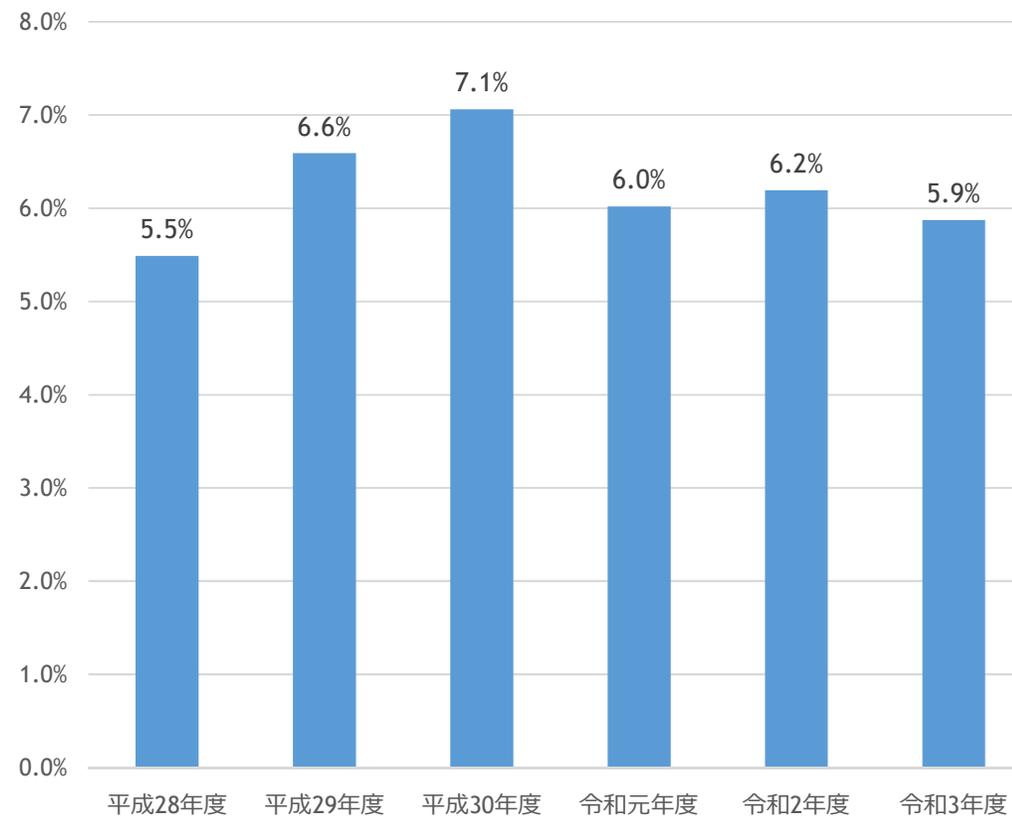
# 損益計算書

## 得られる情報②

人件費比率（人件費／業務費）



一般管理費比率（一般管理費／業務費）

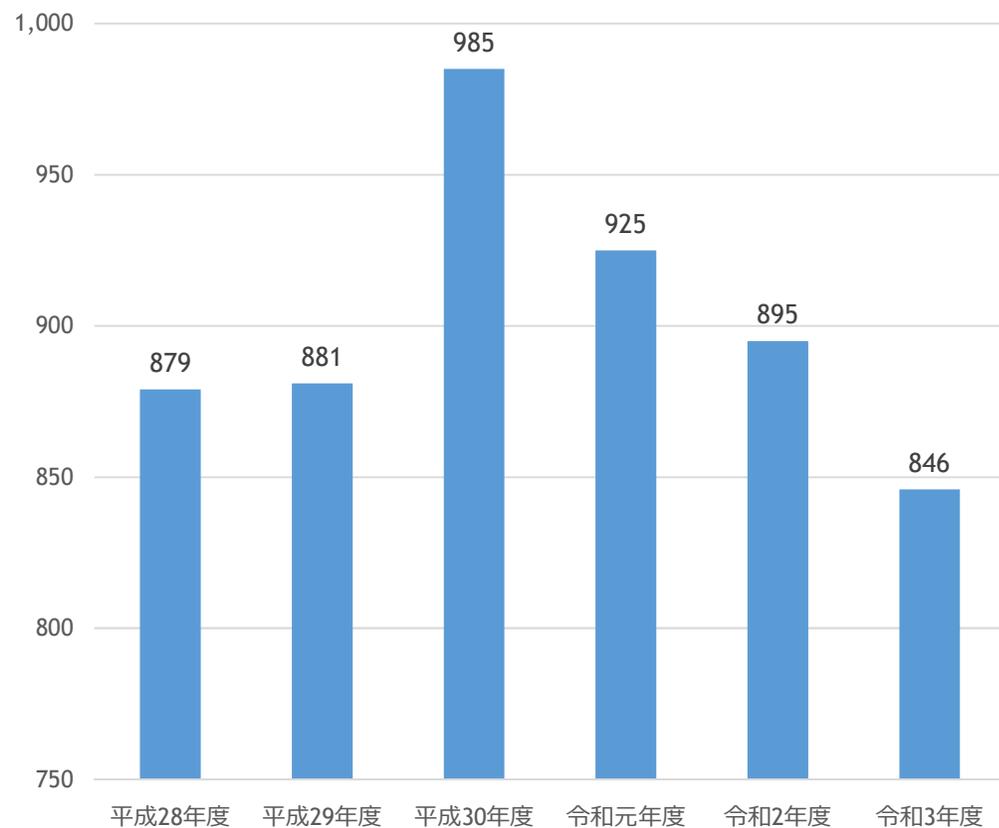


# 損益計算書

## 得られる情報③

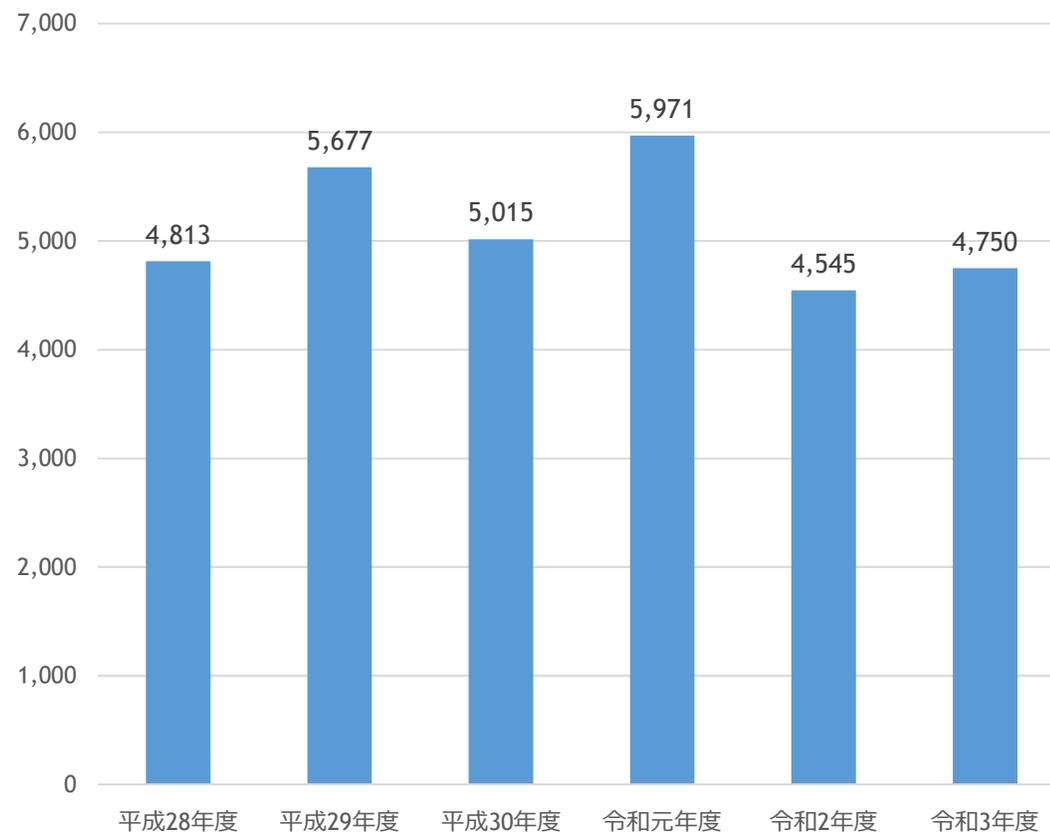
学生当教育経費（教育経費／学生収容定員）

（単位：千円）



教員当研究経費（研究経費／教員数）

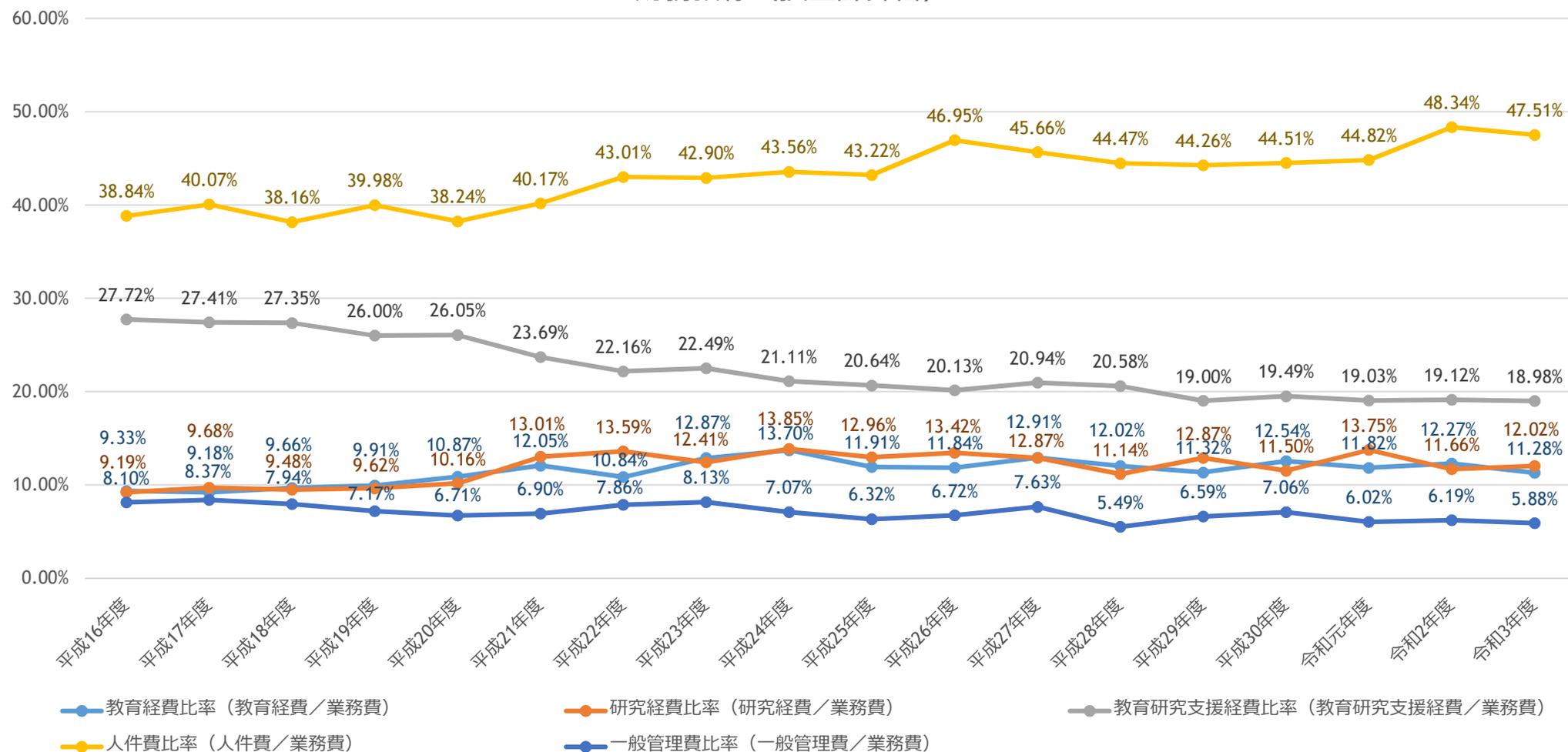
（単位：千円）



# 損益計算書

## 得られる情報④

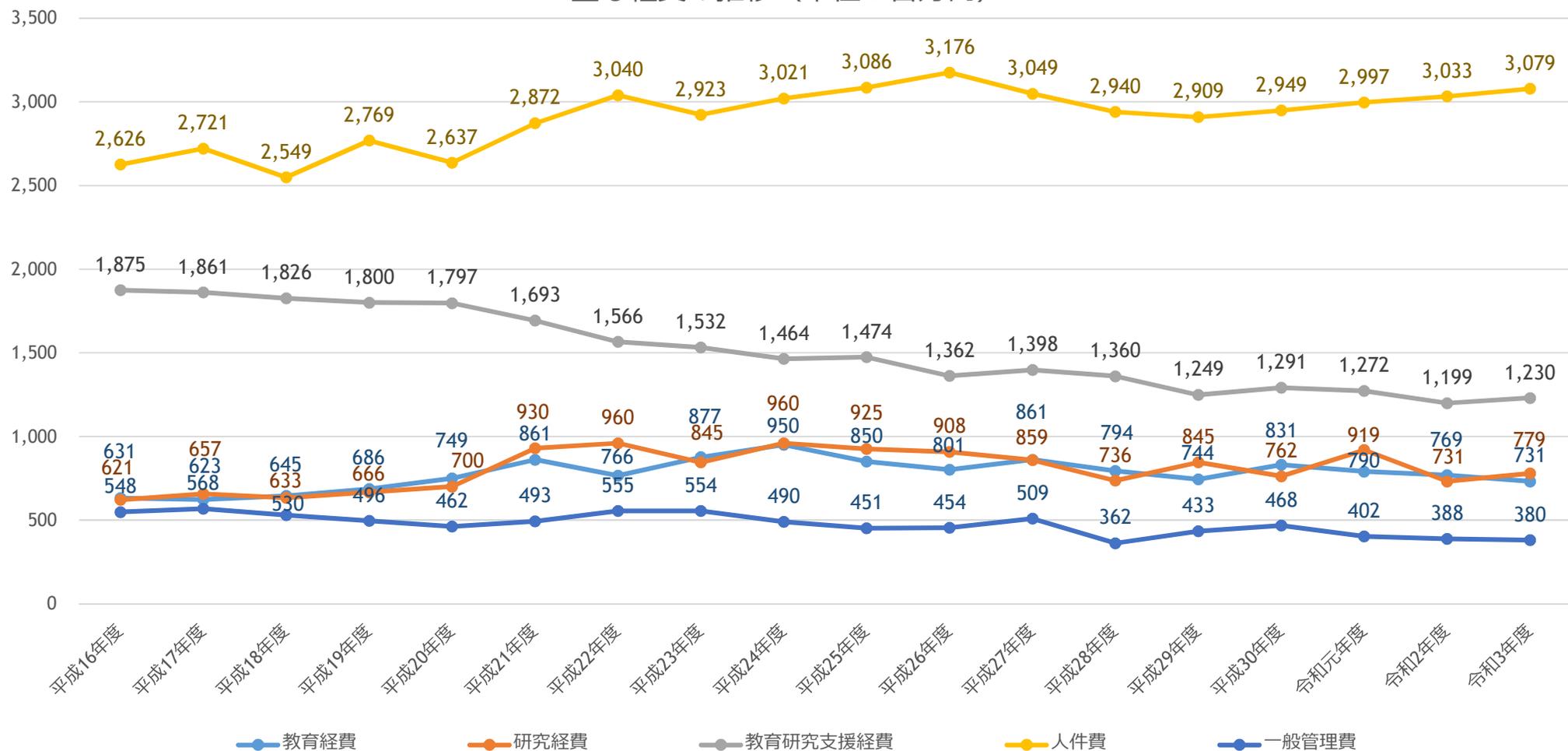
財務指標（損益計算書）



# 損益計算書

## 得られる情報④

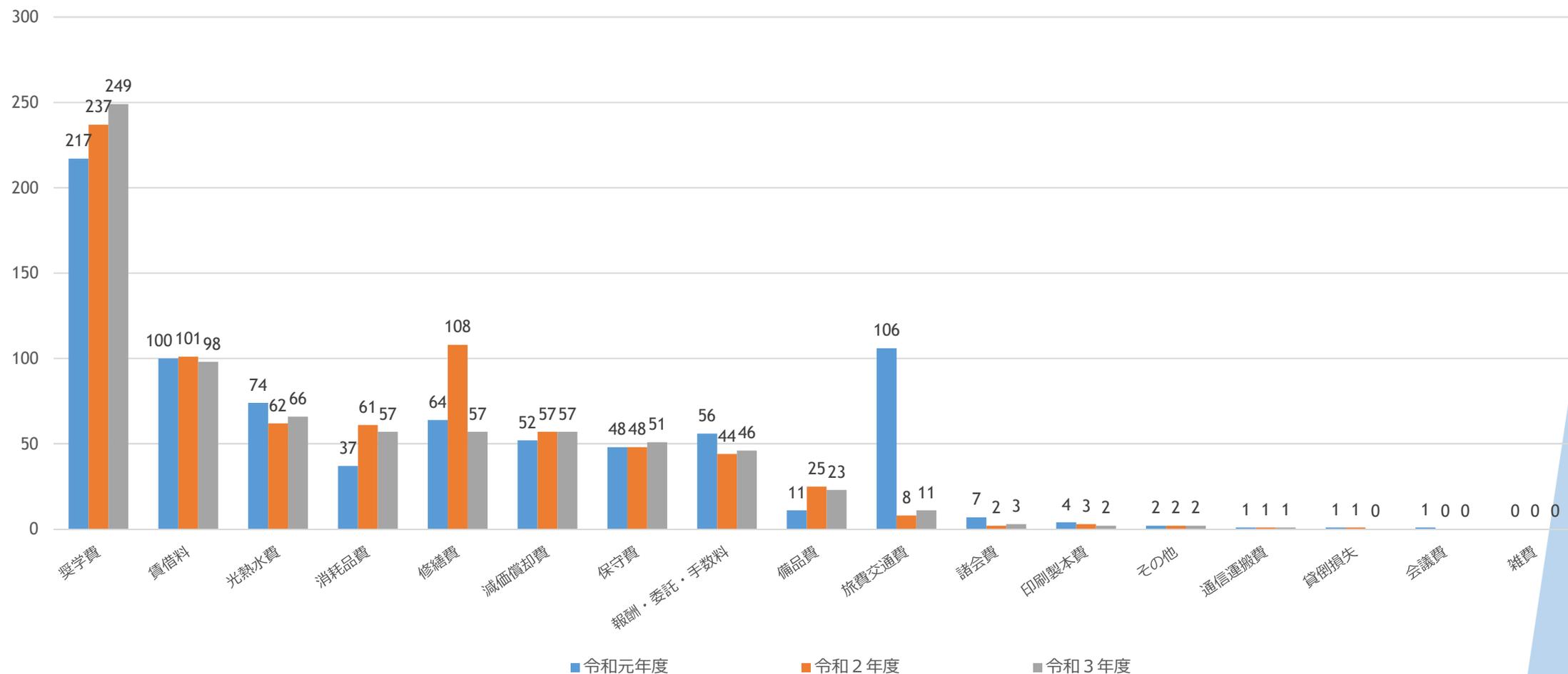
主な経費の推移（単位：百万円）



# 損益計算書

## 得られる情報⑤

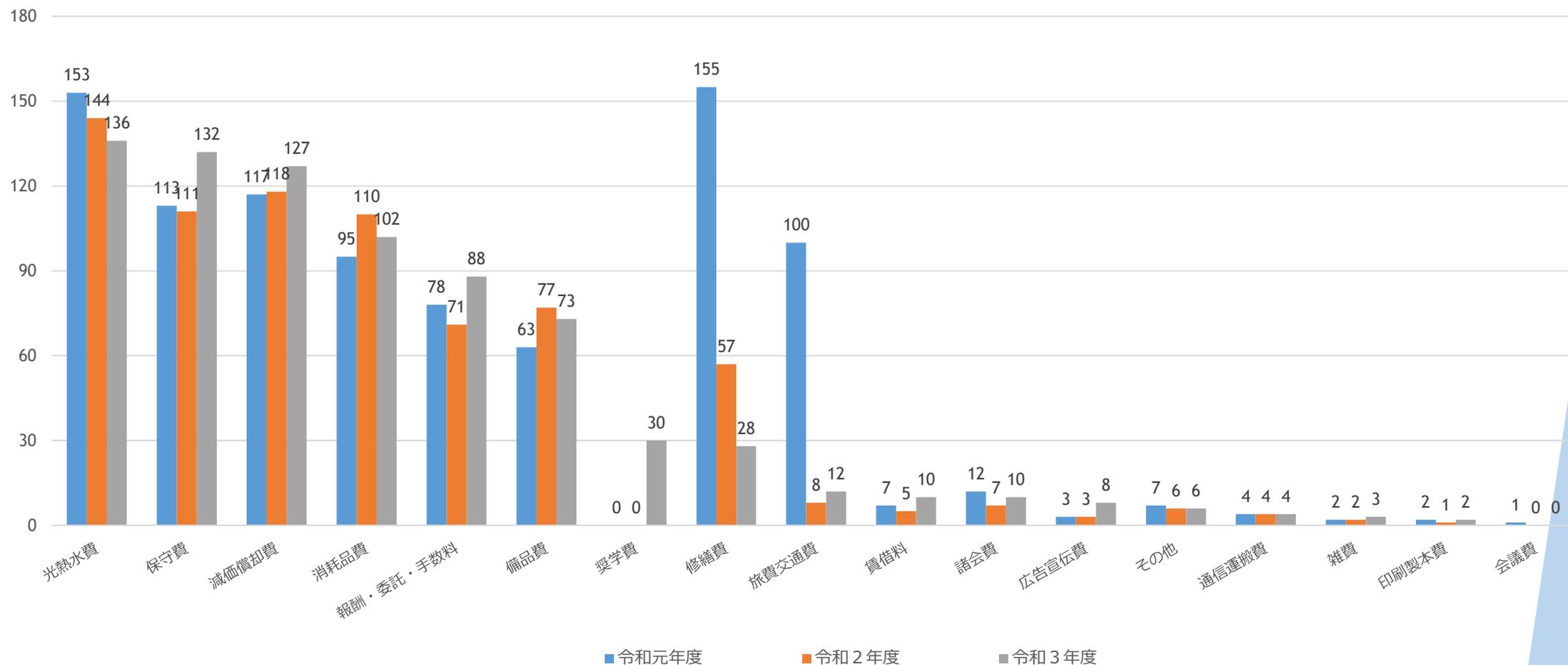
教育経費の内訳（単位：百万円）



# 損益計算書

## 得られる情報⑤

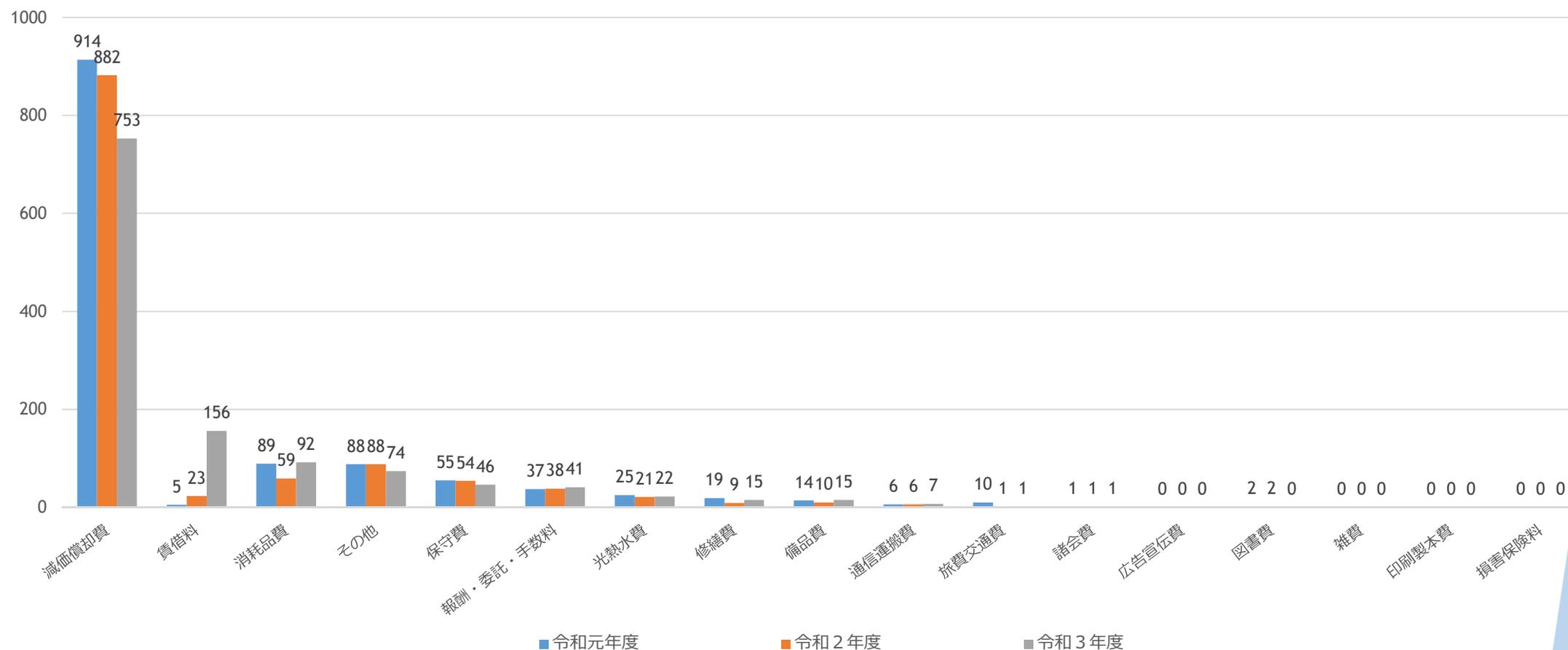
研究経費の内訳（単位：百万円）



# 損益計算書

## 得られる情報⑥

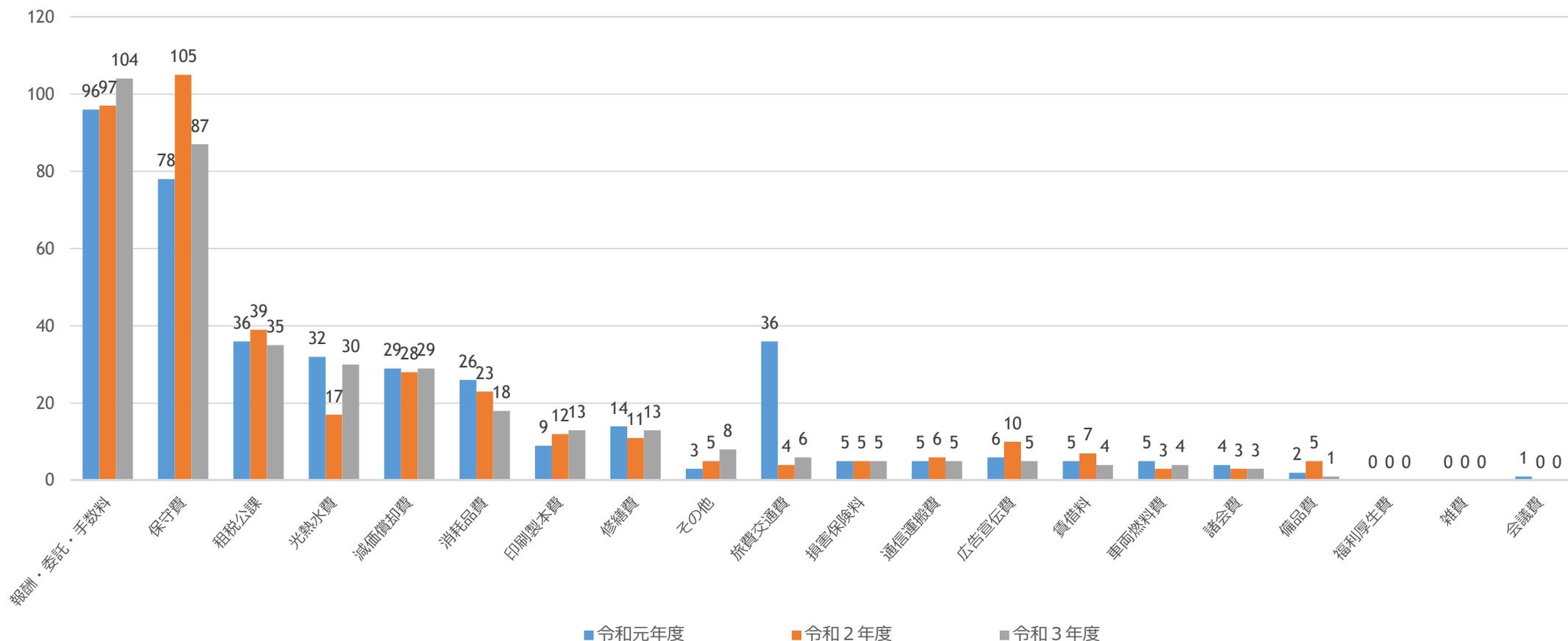
教育研究支援経費の内訳（単位：百万円）



# 損益計算書

## 得られる情報⑥

一般管理費の内訳（単位：百万円）



# キャッシュフロー計算書

本学の1会計期間（4月1日～3月31日）における「資金（キャッシュ）の増減」を表すもので、大きく3つの活動に分類し、資金の流れを記載しています。

（単位：百万円）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	1,487	1,505	1,404	1,290	1,449	1,464
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲439	▲484	▲475	▲352	▲652	▲286
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲870	▲878	▲925	▲859	▲831	▲696
IV 資金にかかる換算差額	0	0	0	0	0	0
V 資金増加額（又は減少額）	177	141	2	75	▲34	480
VI 資金期首残高	1,873	2,051	2,192	2,195	2,274	2,239
VII 資金期末残高	2,051	2,192	2,195	2,274	2,239	2,720

# 利益処分に関する書類

当期末処分利益の処分の内容を明らかにしています。

なお、当期総利益のうち文部科学大臣の承認を受けた額については、目的積立金として積み立てられ、翌事業年度へ繰り越し、使用が可能となります。

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
I 当期末処分利益						
当期総利益	550	191	122	264	405	467
II 積立金振替額（※）						
前中期目標期間繰越積立金						122
目的積立金						514
III 利益処分量						
積立金	0	0	0	0	39	1,103
目的積立金	550	191	122	264	366	0

※「II 積立金振替額」は中期目標期間の最終年度のみ、該当がある場合に計上する項目

# 国立大学法人等業務実施コスト計算書

本学の教育・研究等の業務運営に要した費用のうち、どの程度国民負担に賄われたかを示しています。

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
I 業務費用	5,182	5,155	5,216	5,325	5,144	5,280
II 損益外減価償却相当額	550	557	541	515	457	467
III 引当外賞与増加見積額 等	0	82	25	31	190	87
IV 機会費用	6	4	0	0	10	18
V (控除) 国庫納付額	0	0	0	0	0	0
VI 国立大学法人等業務実施コスト	5,737	5,800	5,783	5,873	5,803	5,854

# 決算報告書

財務諸表とは別に、国の会計ベースである現金主義に基づき、  
 国立大学法人の運営状況を表しています。

(単位：百万円)

科目	予算額	決算額	決算－予算
<b>収入</b>			
運営費交付金	5,377	5,421	44
施設整備費補助金	233	172	▲60
補助金等収入	12	192	180
大学改革・学位授与機構施設費交付金	20	20	0
自己収入	658	672	14
授業料、入学料及び検定料収入	530	538	8
財産処分収入	0	0	0
雑収入	128	133	5
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	610	950	340
引当金取崩	0	0	0
長期借入金収入	0	0	0
目的積立金取崩	448	300	▲147
出資金	0	0	0
<b>収入合計</b>	<b>7,358</b>	<b>7,729</b>	<b>371</b>

# 決算報告書

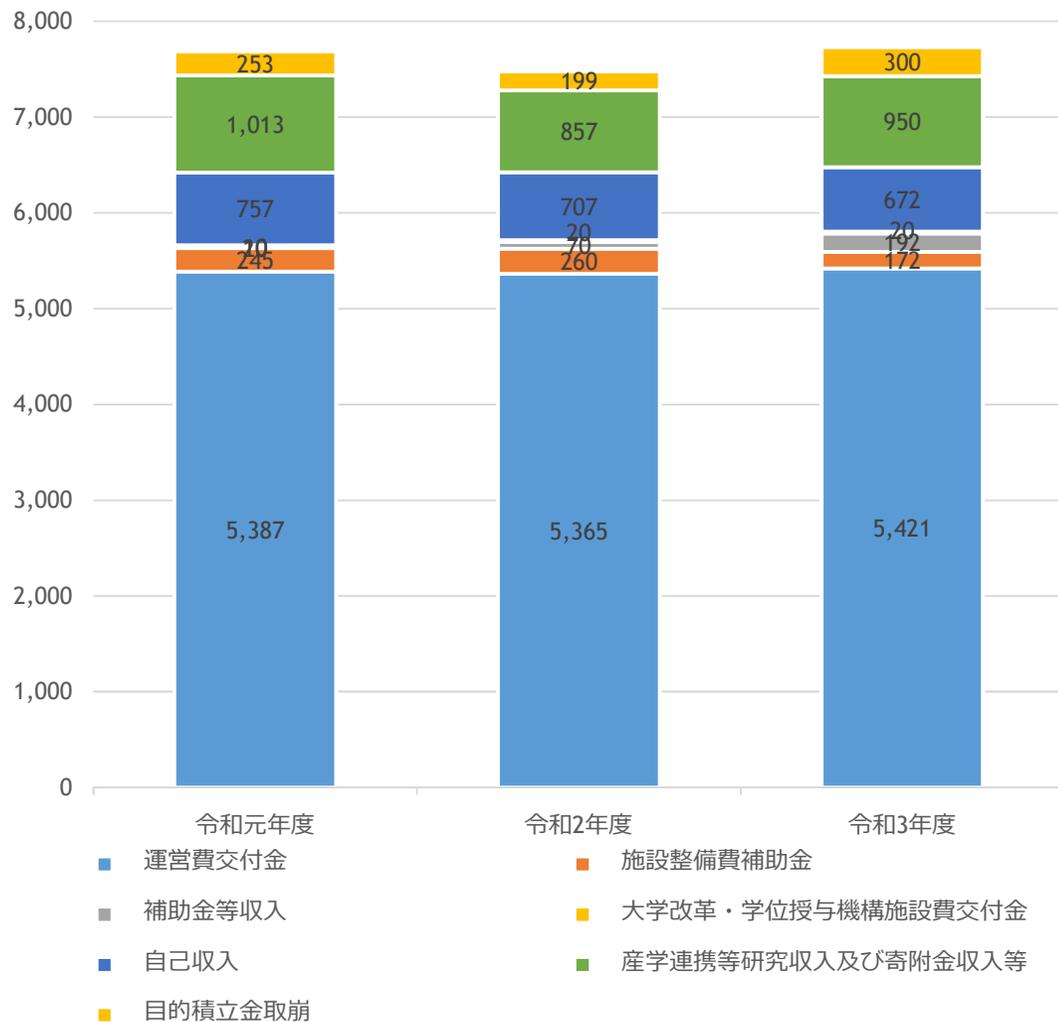
(単位：百万円)

	予算額	決算額	決算－予算
<b>支出</b>			
業務費	6,483	6,032	▲450
教育研究経費	6,483	6,032	▲450
施設整備費	253	192	▲60
補助金等	12	192	180
産学連携等研究費及び寄附金事業費等	610	841	231
長期借入金償還額	0	0	0
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	0	0	0
出資金	0	0	0
<b>支出合計</b>	<b>7,358</b>	<b>7,258</b>	<b>▲99</b>
<b>収入－支出</b>	<b>0</b>	<b>470</b>	<b>470</b>

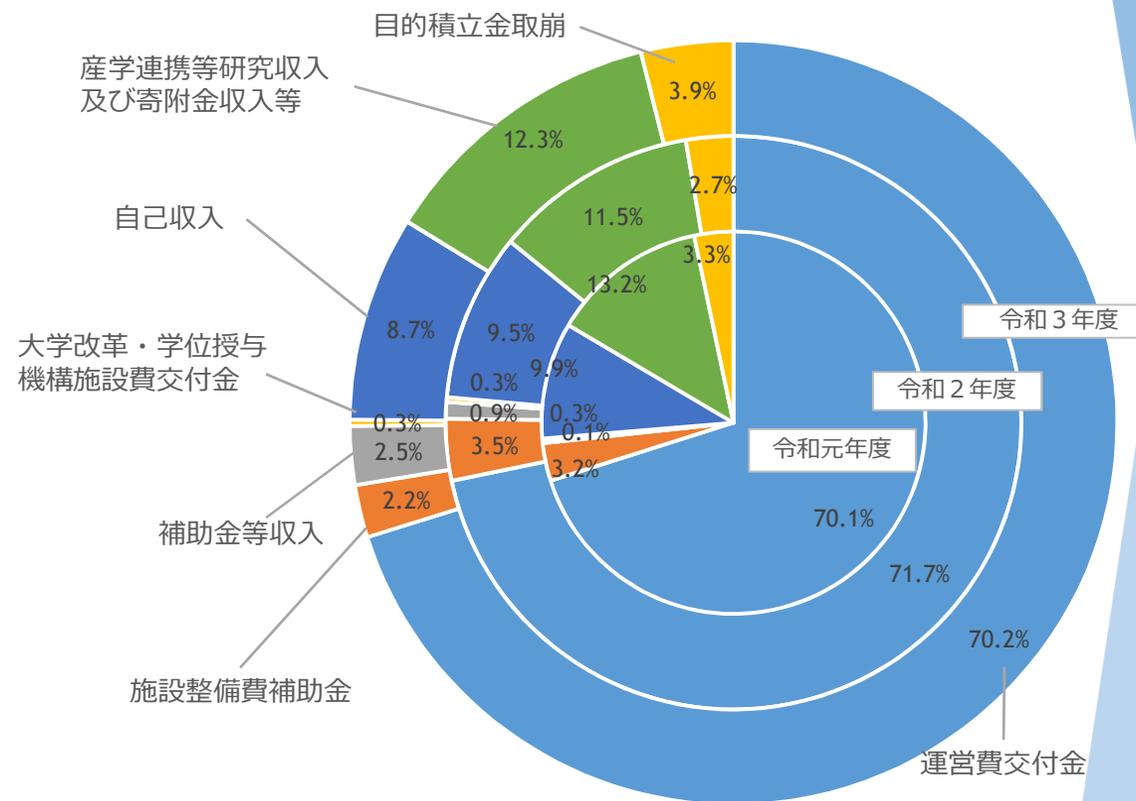
# 決算報告書

## 得られる情報①

収入内訳（直近3年）（単位：百万円）



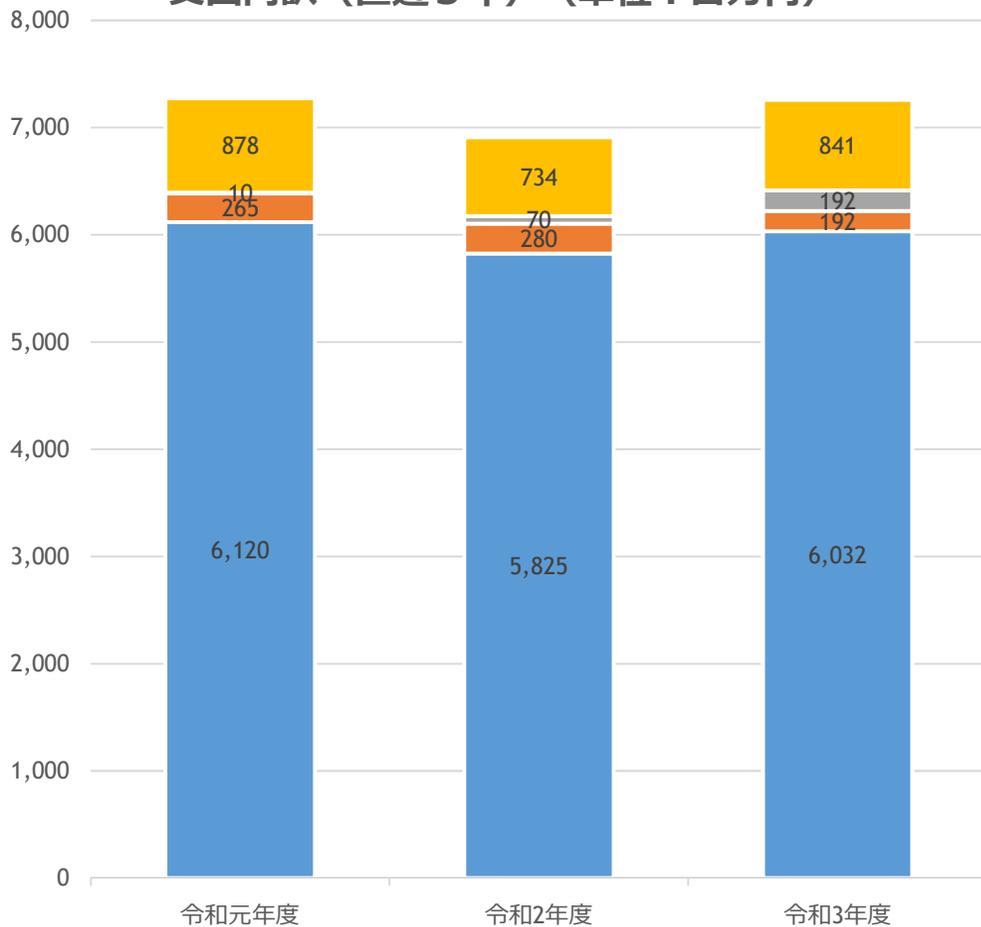
収入割合（直近3年）



# 決算報告書

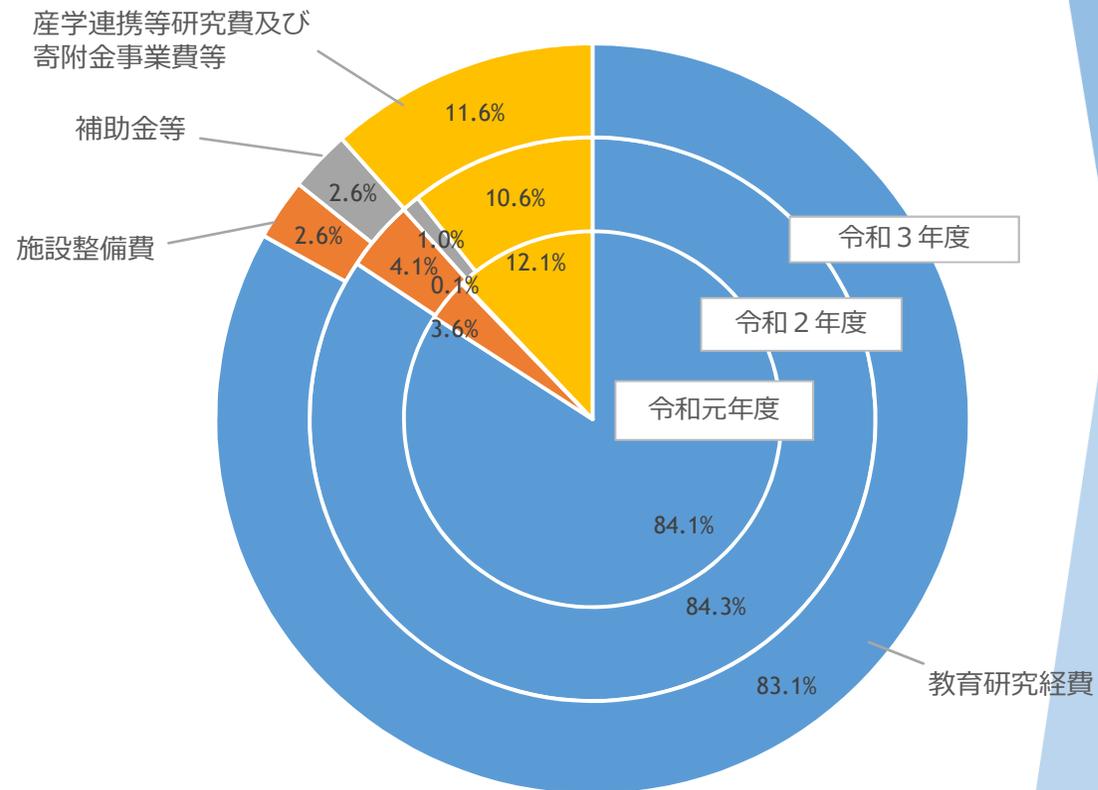
## 得られる情報②

支出内訳（直近3年）（単位：百万円）



- 産学連携等研究費及び寄附金事業費等
- 補助金等
- 施設整備費
- 教育研究経費

支出割合（直近3年）



# 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 財務レポート2022



国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学  
総務部会計課予算・決算係

Email : [zaimu@ml.jaist.ac.jp](mailto:zaimu@ml.jaist.ac.jp)

URL : <https://www.jaist.ac.jp/index.html>